TOSHIBA

東芝デジタルタイマ取扱説明書

AMT-3000 (EIA-1U)

このたびは東芝デジタルタイマをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのデジタルタイマを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは必ず保存してください。

もくじ

項　目	ページ
本機の特徴	2
特にご注意を	2
各部のなまえとはたらき	3
タイマプログラムの組み方	5
プログラム登録をおこなう前に（システムリセットと曜日・時刻設定）	8
プログラム登録のしかた(1)（グループ１～３）	9
プログラム登録のしかた(2)（グループ４）	11
当日プログラムの登録のしかた	13
登録したプログラムの確認のしかた	14
登録したプログラムの取消しのしかた①	16
登録したプログラムの取消しのしかた②	17
当日プログラムの取消しのしかた	18
プログラムの修正のしかた	19
プログラムのテストのしかた	20
一時変更の指定のしかた	21
連休の登録のしかた	23
手動制御のしかた	25
時刻の修正について	26
キーロックについて	26
表示メッセージについて	27
EIA ラックへの取り付けかた	28
修理サービスについて	29
仕様・外観寸法図	29

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

<生産完了 2006年02月08日>

本機の特徴

■プログラムは週単位で１サイクルです。
■同じスケジュールで運用する日のプログラムはグループ化できます。
またこのようなグループを３つまで設定できます。（グループ１～３）
■グループ化しにくいスケジュール（ウィークデーの特定日のみ動作させたいスケジュールなど）は曜日まで直接指定できるグループ４に登録することで、複雑なスケジュールにも対応できます。
■一時変更の操作により、ウィークデーの休日や、土曜出勤日などのとき、スケジュールを簡単に変更できます。
■連休のとき、指定した日数だけ、休日（日曜日）のスケジュールに変更したり、休止させることができます。
■当日のみのスケジュールの変更や、その場での手動による操作による起動もできます。
■本機は４つの独立した接点を持ち、プログラム容量はグループ１～３が150ステップ、グループ４と当日プログラムで100ステップの大容量です。
■充電式ニッケルカドミウム電池を使用して停電補償しておりますので、停電があっても200時間以上時計は動作し、プログラムした内容は記憶されます。（ただし出力は切になります。）

特にご注意を

■必ずアースをしてからご使用ください。
事故防止のため、必ずアース端子からアースをとってご使用ください。
■ヒューズは必ず指定容量のものをご使用ください。
ヒューズが切れたときは、その原因を取り除いてから指定容量のヒューズと交換してください。
銅線などを使用しないでください。
■セット内部にはふれないでください。
セットを改造されますと非常に危険です。また故障の原因ともなります。
■高温や湿度の高い所を避けて風通しの良い、ホコリの少ない所に設置してください。
直射日光の当る所、ストーブのような熱器具の近く、または調理台の近くで油煙や湯気の当るような所は避けてください。
■本機の上や近くに水の入った容器などを置かないでください。
本体内部に水が入るとショートや感電の原因となり大変危険です。
■本機のプログラムをバックアップする充電式ニッケルカドミウム電池の寿命は約５年です。
５年に１回定期的に交換されることをお推めします。
■バックアップする充電式ニッケルカドミウム電池がフル充電されるには電源投入後50時間必要です。
それ以内に停電した場合、200時間の停電補償ができない場合があります。
■本機に異常があった場合には、また、バックアップ電池を交換される場合には、お買いあげの販売店、または、お近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

各部のなまえとはたらき

連休キー
連休の指定や取り消しを行なうとき使用します。

プログラムキー
プログラムデータの登録、確認、取り消しを行なうとき使用します。

時刻
時刻の修正を行なうとき使用します。

スタートキー
各データの設定を始めるとき使用します。

当日キー
当日だけのプログラムデータの登録、確認、取り消しを行なうときに使用します。

一時キー
次の曜日からの一時変更の登録、確認、取り消しを行なうときに使用します。

手動キー
設定された時刻に関係なく、動作させたいときに使用します。

ロックキー
操作の終了及びキーロックをするときに使用します。

（前 面）

調整キー
プログラムのテストをするとき使用します。

前項キー
現在、設定可能の項目より前の項目に移るとき使用し、その項目の変更が可能になります。設定されていない場合は移りません。

次項キー
現在、設定可能の項目より先の項目に移るとき使用します。ただし、先に設定できる項目が無い場合は移りません。
また、現在の項目にデータが設定されていないで押すと警告音が鳴り、エラーになります。

確認キー
指定された条件での登録されたデータの内容を確認するとき使用します。

取消キー
指定された条件での登録されたデータの内容を取り消すとき使用します。

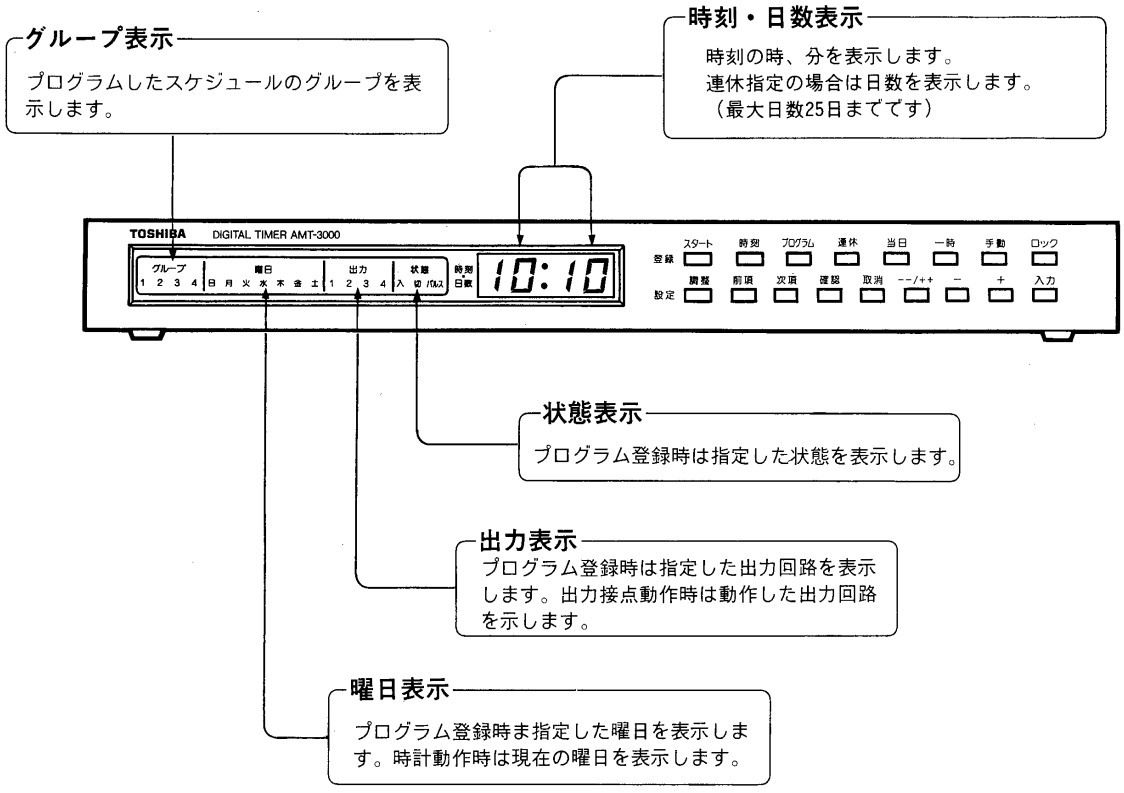
入力キー
設定されたデータを登録するとき使用します。入力時は、確認音（0.1秒）が鳴り、不足の項目があれば警告音（0.5秒）が鳴ります。

＋キー
設定データが＋1だけ変化します。押し続けると約0.5秒間隔で変化します。(1→2→3→・・・)

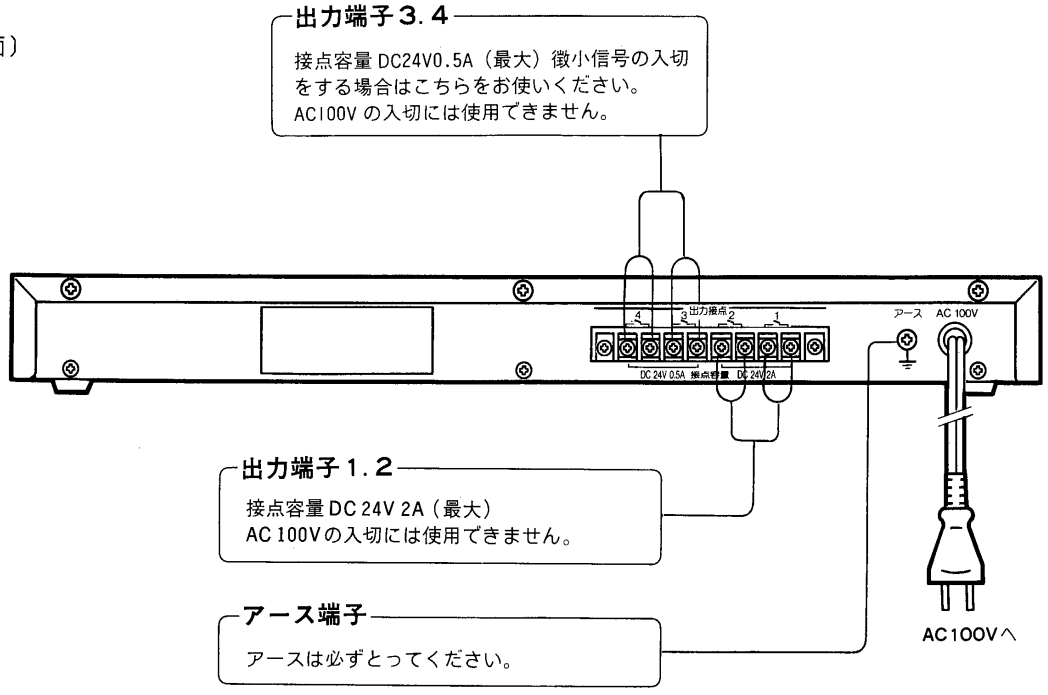
−キー
設定データが−1だけ変化します。押し続けると約0.5秒間隔で変化します。(9→8→7→・・・)

−−／＋＋キー
(確認)(−)(＋)キーと一緒に使用しますと、表示及び設定の変化が約0.1秒間隔になります。(早送りできます。)

〔表示部〕



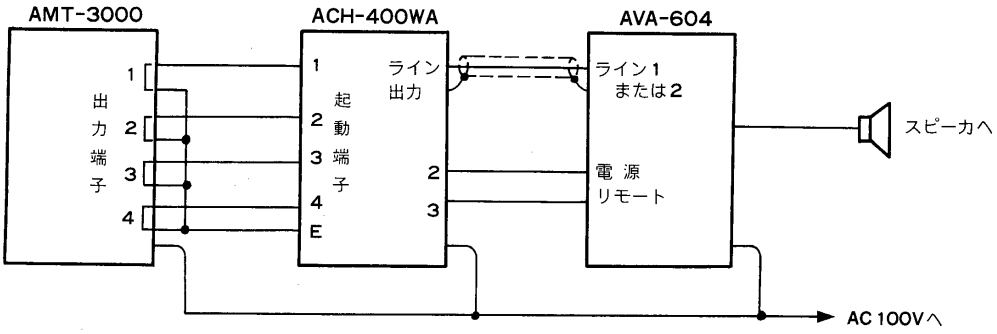
〔背 面〕



お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

タイマプログラムの組みかた

タイマのプログラムを組むには、次の手順にそっておこなってください。
①スケジュールの決定とスケジュール表の作成
②グループ設定（日～土まで同じスケジュールで毎日運用する場合は不要です。グループ１としてください。）
③プログラム作成表への記入
ここでは、４曲エレクトロチャイム（ACH-400WA）と卓上アンプ（AVA-604）を使ったシステムでのチャイム放送を例として説明します。システムの構成図は下図のようになります。



（1）スケジュール表の作成

まずスケジュールをたてます。
動作（項目）。時刻、曜日を決めて添付のスケジュール表に記入します。
〈ご注意〉
BGM などを使用して、アンプを入、切する場合で、曜日により放送時間が異なるときは入、切の時刻の両方とも記入してください。

スケジュール表　作成

番号	項目	時刻	曜日							備考
		時：分	日	月	火	水	木	金	土	
1	チャイム１（予鈴）	7:55		○	○	○	○	○		
2	チャイム２（始業）	8:00	○	○	○	○	○	○	○	
3	チャイム３（昼休み）	12:00	○	○	○	○	○	○	○	
4	チャイム１（予鈴）	12:55		○	○	○	○	○		
5	チャイム４（PM始業）	13:00	○	○	○	○	○	○	○	
6	チャイム３（終業）	17:00	○	○	○	○	○	○	○	
7	チャイム１（報時）	18:00		○	○	○	○	○	○	
8	チャイム１（報時）	19:00		○	○		○		○	

（2）スケジュール表をもとにグループ化します

次に作成したスケジュール表をもとにグループ化します。
いくつかの曜日にまたがって共通なスケジュールをグループ１～３にまとめます。グループ４には残った部分を入れます。このとき〈例３〉のように１日のスケジュールがいくつかのグループで構成されるようなグループ設定は、連休の指定や一時変更ができなくなりますので避けてください。〈例１〉あるいは〈例２〉のようなグループ設定をしてください。

〈例１〉　（良い例）

スケジュール表　作成

番号	項目	時刻	曜日							備
		時：分	日	月	火	水	木	金	土	
1	チャイム１（予鈴）	7:55		○	○	○	○	○		
2	チャイム２（始業）	8:00	○	○	○	○	○	○	○	
3	チャイム３（昼休み）	12:00	○	○	○	○	○	○	○	
4	チャイム１（予鈴）	12:55		○	○	○	○	○		
5	チャイム４（PM始業）	13:00	○	○	○	○	○	○	○	
6	チャイム３（終業）	17:00	○	○	○	○	○	○	○	
7	チャイム１（報時）	18:00		○	○	○	○	○	○	
8	チャイム１（報時）	19:00		○	○		○		○	

グループ3　グループ4　グループ1　グループ2

〈例２〉　（良い例）

スケジュール表　作成

番号	項目	時刻	曜日							備
		時：分	日	月	火	水	木	金	土	
1	チャイム１（予鈴）	7:55		○	○	○	○	○		
2	チャイム２（始業）	8:00	○	○	○	○	○	○	○	
3	チャイム３（昼休み）	12:00	○	○	○	○	○	○	○	
4	チャイム１（予鈴）	12:55		○	○	○	○	○		
5	チャイム４（PM始業）	13:00	○	○	○	○	○	○	○	
6	チャイム３（終業）	17:00	○	○	○	○	○	○	○	
7	チャイム１（報時）	18:00		○	○	○	○	○	○	
8	チャイム１（報時）	19:00		○	○		○		○	

グループ4　グループ1　グループ2　グループ3

〈例３〉　（悪い例）

スケジュール表　作成

番号	項目	時刻	曜日							備考
		時：分	日	月	火	水	木	金	土	
1	チャイム１（予鈴）	7:55		○	○	○	○	○		
2	チャイム２（始業）	8:00	○	○	○	○	○	○	○	
3	チャイム３（昼休み）	12:00	○	○	○	○	○	○	○	
4	チャイム１（予鈴）	12:55		○	○	○	○	○		
5	チャイム４（PM始業）	13:00	○	○	○	○	○	○	○	
6	チャイム３（終業）	17:00	○	○	○	○	○	○	○	
7	チャイム１（報時）	18:00		○	○	○	○	○	○	
8	チャイム１（報時）	19:00		○	○		○		○	

グループ1　グループ3　グループ2　グループ4

(3) グループ化したスケジュールをプログラム作成表に記入します

1 添付のプログラム作成表に設定したグループごとにプログラムを記入していきます。

- グループ 1 ～ 3 と当日、グループ 4 では記入するプログラム作成表が異なりますのでご注意ください。
- プログラムのステップ数（プログラム作成表の 1 行が 1 ステップ）はグループ 1 ～ 3 の合計が 150 、グループ 4 と当日プログラムの合計が 100 ステップまでです。それ以上の容量になる場合はグループ分けをやりなおすか、スケジュールを見直してステップ数を減らしてください。
- 機器を動作させるための手順を確認しておいてください。
  5 ページの図の例の場合

(1) タイマのパルス接点でチャイムを起動 ➡ チャイムが起動してアンプ起動接点 ON ➡ アンプ起動 ➡ チャイム鳴動 ➡ アンプ起動接点 OFF

となりますのでタイマの接点は、パルス接点を一度起動させるだけです。
機器の組合せや接続によっては、

(1) タイマでアンプ ON（保持接点 ON） ➡ (2) タイマでチャイム起動 ➡ チャイム鳴動 ➡ (3) タイマでアンプ OFF（保持接点 OFF）

のように 3 ステップの制御が必要となる場合もあります。

接続される機器の取扱説明書や、システムの組み方により変わりますのでご注意ください。

- プログラム作成表の記入のしかた

例に従ってグループごとに記入してください。

①記入するグループ番号を丸で囲んでください。
②運用する曜日を丸で囲んでください。
（当日プログラムの場合は不要です。）
③通し番号を入れてください。
（プログラムのステップ数になります。）
④動作させる時刻を記入してください。
⑤動作させる接点出力を 1 つ選んで丸で囲んでください。
（同一時刻に 2 つ以上の出力を制御する場合）
には 2 行以上に分けて書いてください。
⑥出力接点を保持接点（入、切）として使うか、パルス接点（5 秒間入）として使うかを決めて丸で囲んでください。

（接続機器がパルス接点で動作するか保持接点で動作するか次ページの表、あるいは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。）

⑦備考欄には後で何のプログラムか判るようにスケジュール表の項目の内容を記入します。
⑧グループ 4 のプログラム作成表では 1 ステップ（1 行）ごとに動作させる曜日を記入してください。

スケジュール表

作成

番号	項目	時刻 時:分	曜日 日	月	火	水	木	金	土	備考
1	チャイム 1（予鈴）	7:55		○	○	○	○	○		
2	チャイム 2（始業）	8:00	○	○	○	○	○	○	○	
3	チャイム 3（昼休み）	12:00	○	○	○	○	○	○	○	
4	チャイム 1（予鈴）	12:55		○	○	○	○	○		
5	チャイム 4（PM始業）	13:00	○	○	○	○	○	○	○	
6	チャイム 3（終業）	17:00	○	○	○	○	○	○	○	
7	チャイム 1（報時）	18:00		○	○	○	○	○	○	
8	チャイム 1（報時）	19:00		○	○		○		○	

プログラム作成表（グループ 1・2・3 及び当日※用）

※当日プログラムの場合は、グループと曜日の設定はありません。

グループ ① 2 3　プログラムを動作させる曜日 日 (月) (火) (水) (木) (金) 土

No.

番号	時：分	出力	状態	備考
1	7:55	(1) 2 3 4	入 切 (パルス)	チャイム 1（予鈴）
2	8:00	1 (2) 3 4	入 切 (パルス)	チャイム 2（始業）
3	12:00	1 2 (3) 4	入 切 (パルス)	チャイム 3（昼休み）
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	

プログラム作成表（グループ 4 用）

No.

番号	曜日	時：分	出力	状態	備考
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください

<生産完了 2006年02月08日>
AMT-3000 (6 / 34)

機 種 別 接 点 早 見 表

形　名	制御可否	接　点		接点状態		備　考
		1，2	3，4	入／切	パルス	
ACH-100WB	可能	○	○	——	○	モレックスコネクタ7，8に入力
ACH-400WA	可能	○	○	——	○	起動端子に入力
ADA-1002	直接不可					直接AC100Vは入切できません。外付リレーを使うかアンプ入力機器(チャイムなど)の接点を利用してください。　＊1
ADA-1102	直接不可					
ADA-1202	直接不可					
ADA-2002	直接不可					
ADA-3002	直接不可					
ALF-1500R, 1501R	可能	○	○	○	——	非常ロッカーアンプ設置要領書の23，24ページ参照してください。
ALF-2000R, 2001R	可能	○	○	○	——	
ALM-1501	可能	○	○	○	——	ATB-300 の端子 TB1101 の9-10番端子に入力してください。
ALM-2001	可能	○	○	○	——	
AVA-304	直接不可					直接AC100Vは入切できません。外付リレーを使うかアンプ入力機器(チャイムなど)の接点を利用してください。　＊1
AVA-604	直接不可					
AVA-305	可能	○	○	○	——	電源起動または一斉を制御してください。(チャイム、ＢＧＭをお使いのときはそちらの起動接点を使って制御してください。
AVA-605	可能	○	○	○	——	
AVA-1205	可能	○	○	○	——	
AWF-1000E	可能	○	○	○	——	それぞれの取扱説明書を御覧ください。(チャイム、ＢＧＭをお使いのときはそちらの起動接点を使って制御 してください。)
AWF-1000D	可能	○	○	○	——	
AWF-1000K	可能	○	○	○	——	
AWF-1000R	可能	○	○	○	——	
BGM-3200	可能	○	○	——	○	リモート端子等使用、但しＢＧＭの電源スイッチは常時オンです。(電源起動端子は直接入力できません。)
BGM-4200	可能	○	○	——	○	
BGM-6100	可能	○	○	——	○	
BGM-7000	可能	○	○	——	○	スタート及びストップ入力端子を使用。
BGM-8000	可能	○	○	——	○	
CH-4000W	直接不可					外付リレーでAC100V 入切してください。

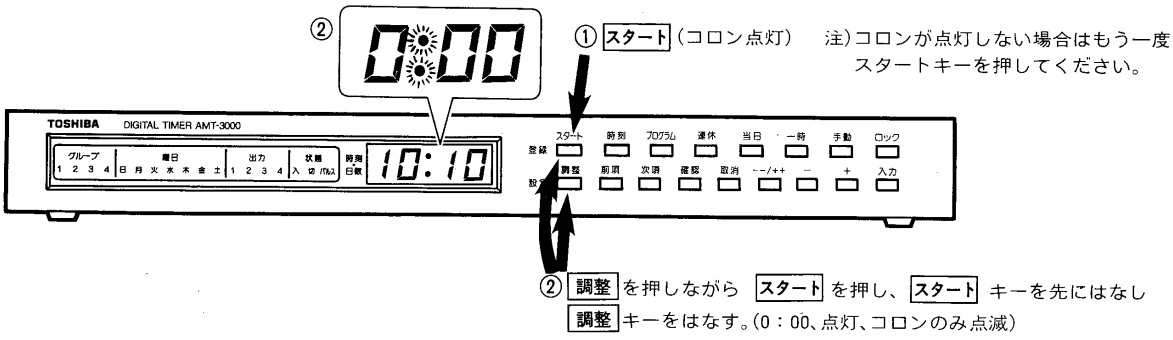
＊1)　外付リレーを用いる場合は、接点仕様に注意してください。
AVA-304、604の場合　AC100V10A以上のリレー
デスクアンプの場合　　AC100V 5A以上のリレー
又、DC24V以下で動作するものを用いてください。

プログラム登録をおこなう前に

本機の設置、配線などが終了しましたら、電源を入れ、プログラム登録前に以下のようにシステムリセットと曜日、時刻の設定をしてください。

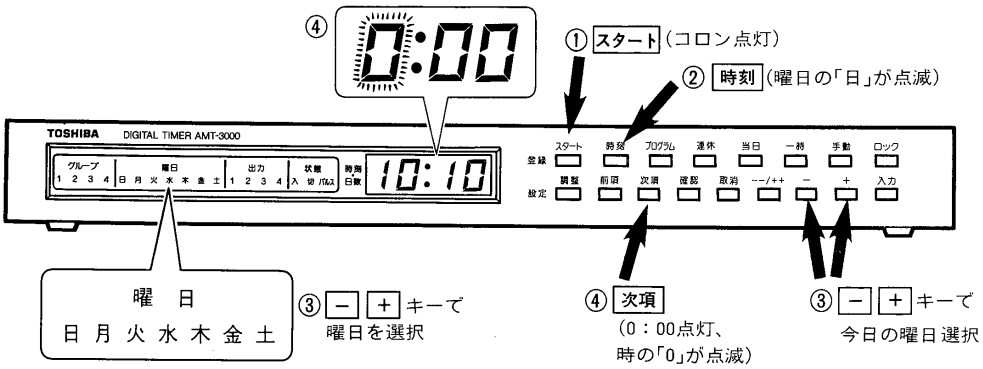
システムリセット

○内の数字の順序に従って、矢印のキーを押してください。

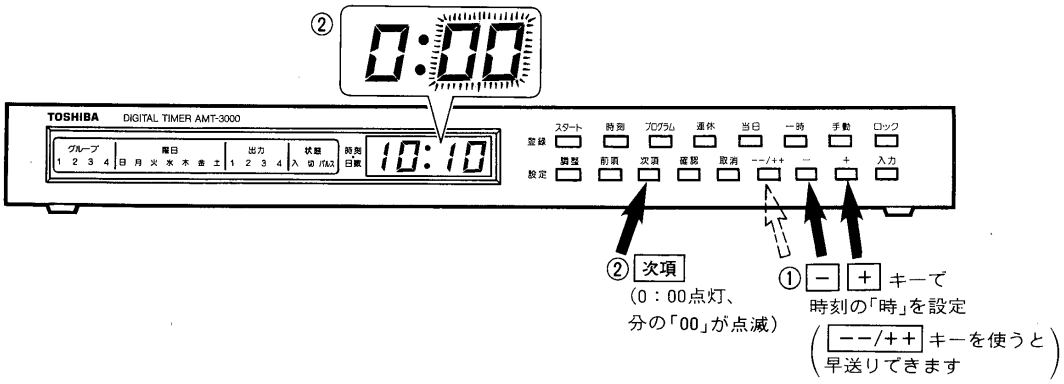


曜日、時刻（時/分）の設定

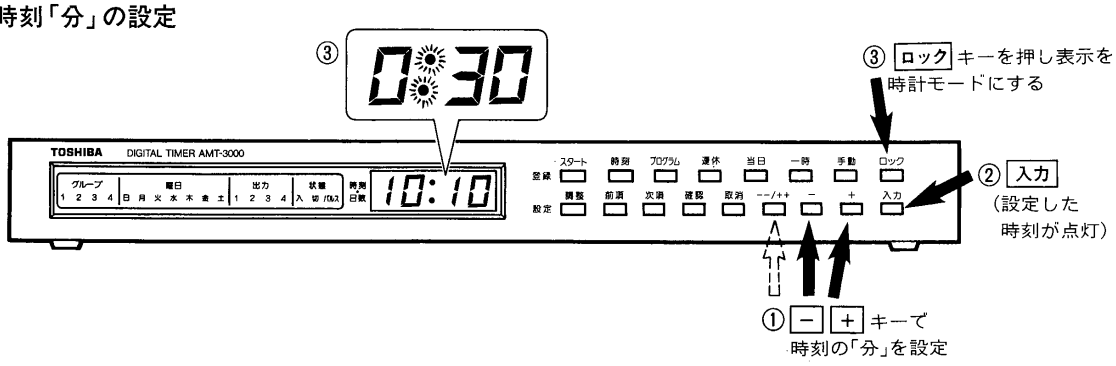
1 曜日の設定



2 時刻「時」の設定



3 時刻「分」の設定



●②入力キーを押すと時計機能が00秒よりリスタートします。正確に合わせる場合はテレビ・ラジオ・電話の時報などをご利用ください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2006年02月08日>
AMT-3000 (8 / 34)

プログラム登録のしかた(1) グループ(1.2.3)

プログラム登録(グループ1・2・3)のプロセス

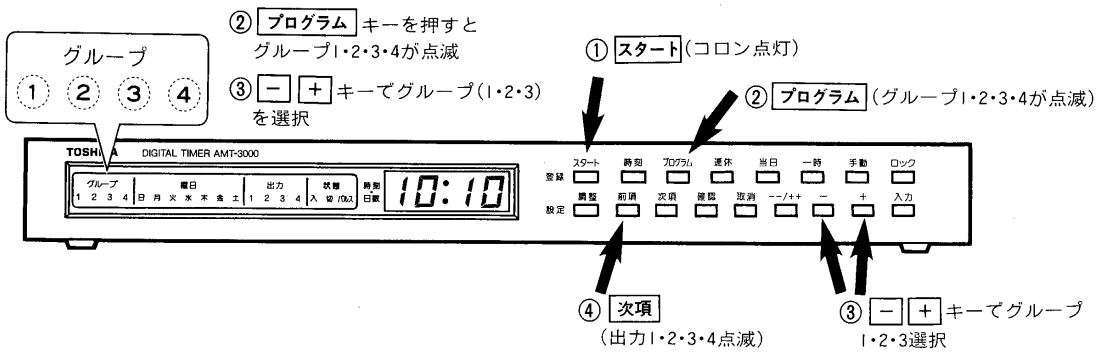
1 グループ1・2・3 (選択) ➡ 2 出力1・2・3・4 (選択) ➡ 3 状態入・切・パルス (選択) ➡ 4 時刻〔時〕 (設定) ➡ 5 時刻〔分〕 (設定) ➡ 6 曜日 日～土 (選択)

1で選択したグループの全プログラムを2～5をくりかえし登録します。
全プログラムを登録後、6で曜日の選択をおこなってください。

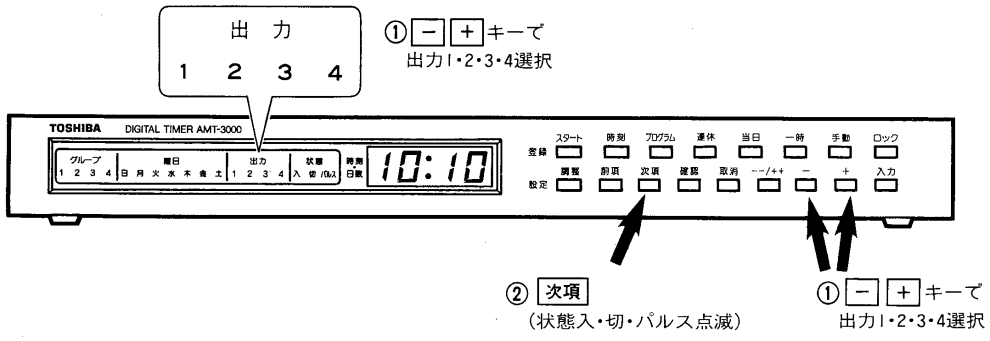
プログラム登録(グループ1・2・3)の操作方法

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

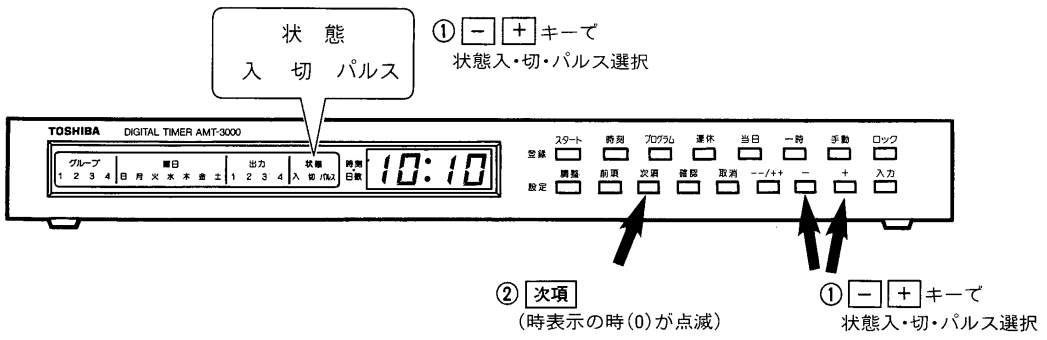
1 グループの選択



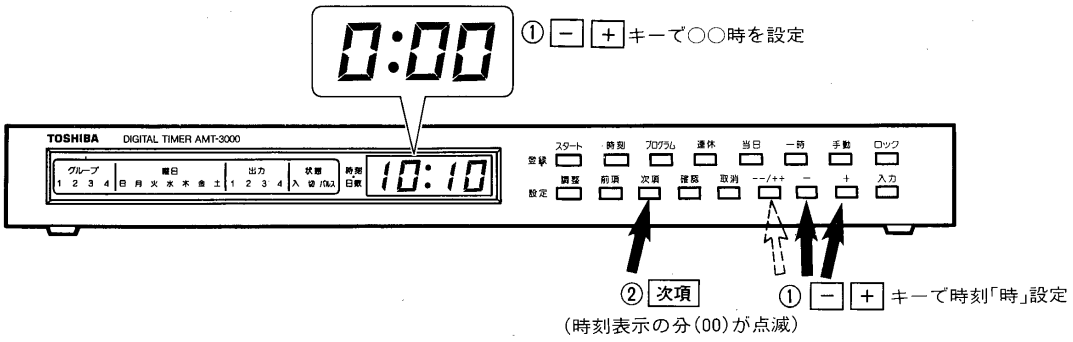
2 出力の選択



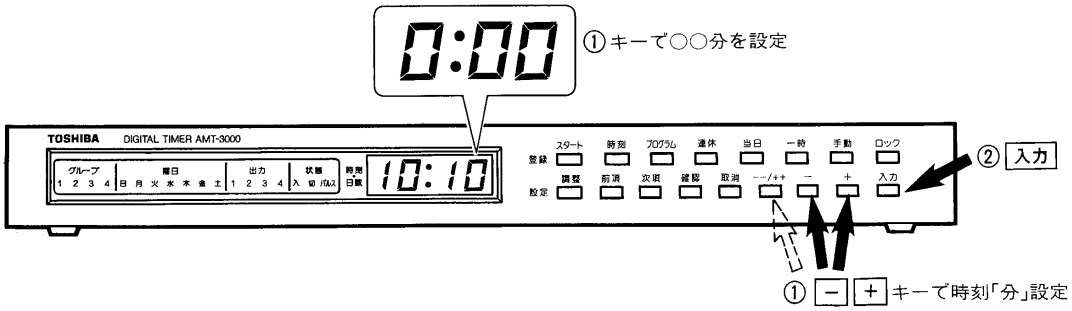
3 状態の選択



4 時刻「時」の設定

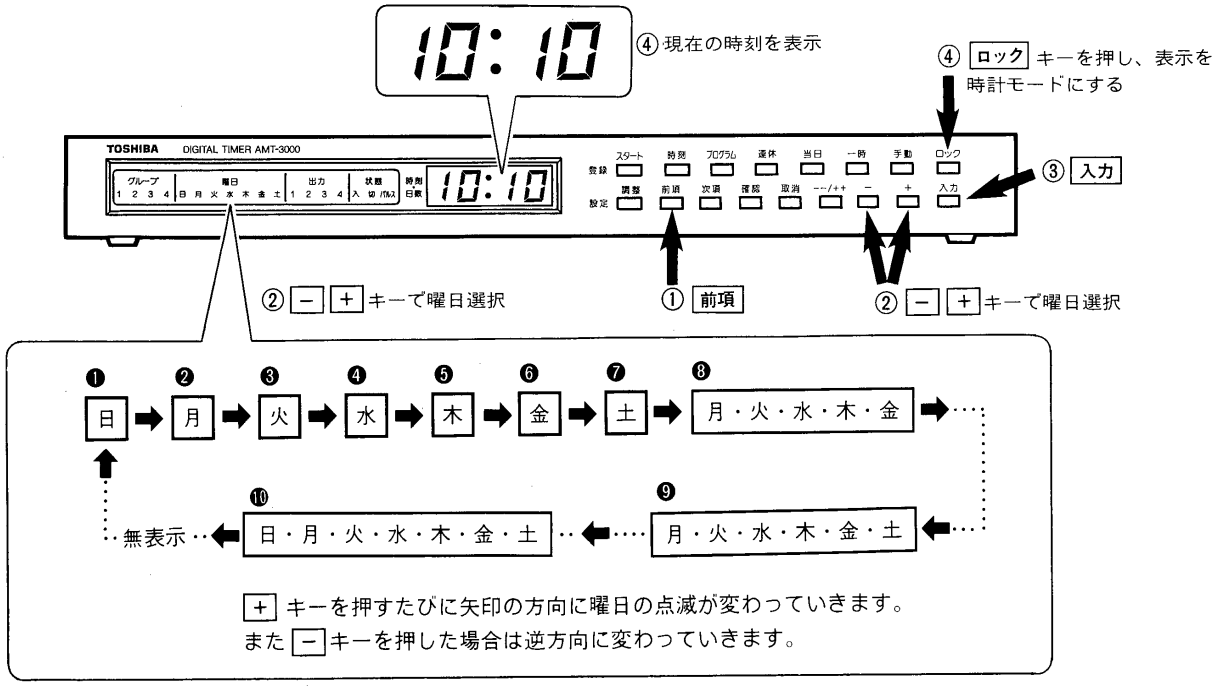


5 時刻「分」の設定



●1で選択したグループの全プログラムを2～5をくりかえし登録してください。登録終了後は、6の設定をおこなってください。

6 曜日の選択



❶～❿以外の曜日の組合わせを設定する場合

●たとえば、曜日の組合わせを 土・日 にする場合は、上記の6の①・②・③を2回くりかえしてください。

① 前項キーを押す ➡ ② －＋キーで「土」を選択 ➡ ③ 入力キーを押す ➡

① 前項キーを押す ➡ ② －＋キーで「日」を選択 ➡ ③ 入力キーを押す ➡ ④ ロックキーを押す

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください

プログラム登録のしかた（グループ4）

プログラム登録（グループ4）のプロセス

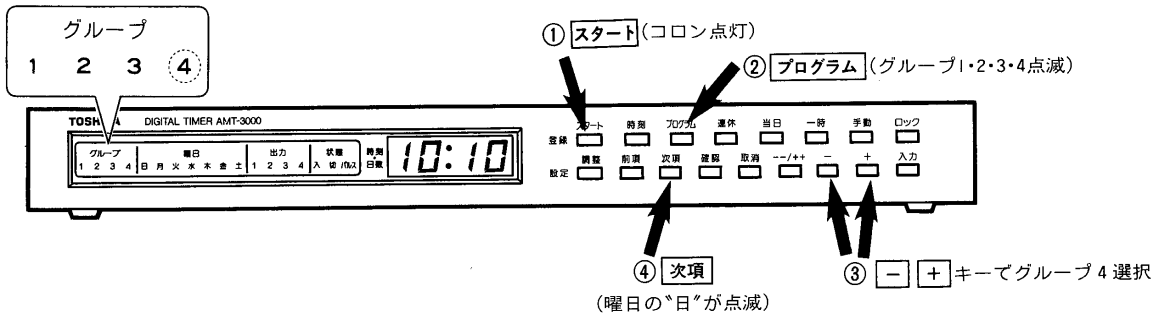
1 グループ4 選択 → 2 曜日 日～土 選択 → 3 出力1・2・3・4 選択 → 4 状態入・切・パルス 選択 → 5 時刻〔時〕 設定 → 6 時刻〔分〕 設定

グループ4の全プログラムを2～6をくりかえし登録してください。

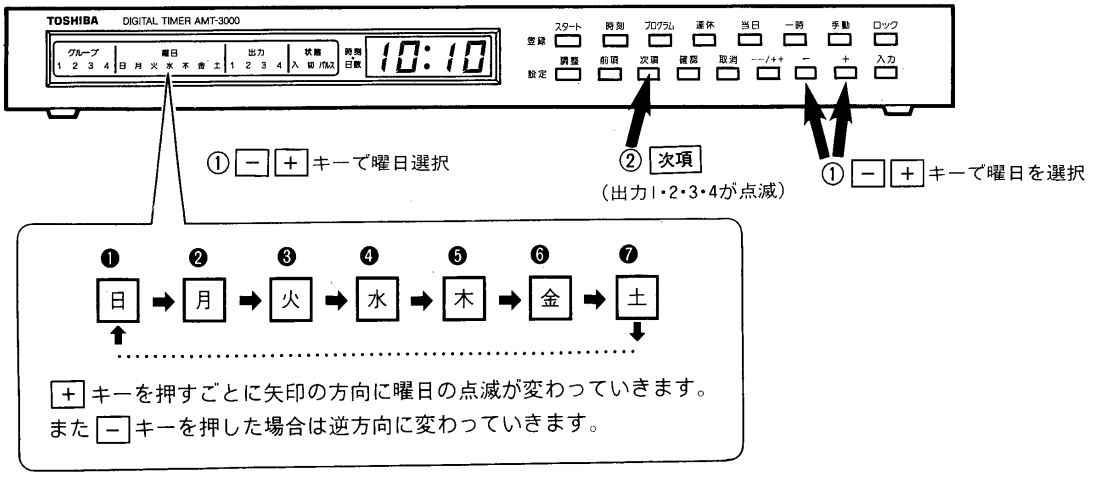
プログラム登録（グループ4）の操作方法

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

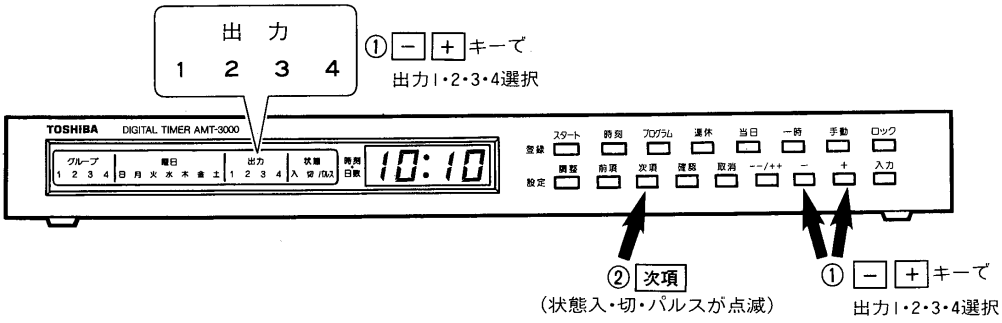
1 グループの選択



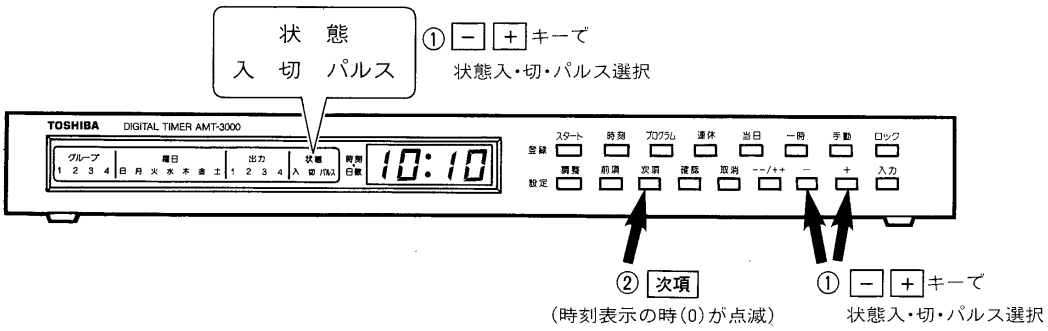
2 曜日の選択



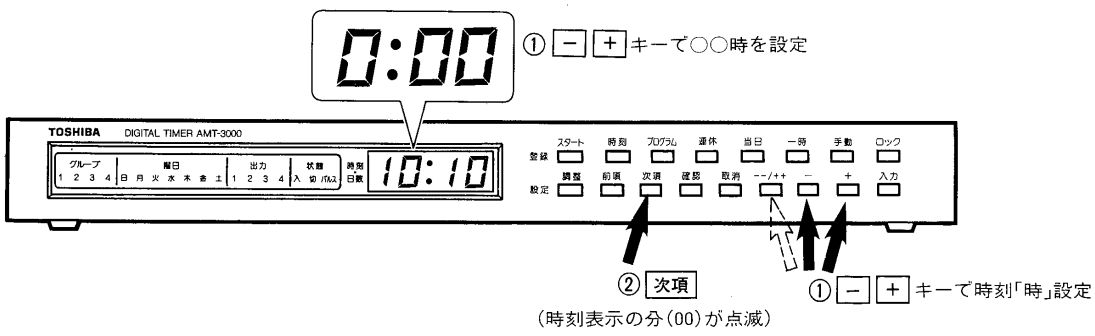
3 出力の選択



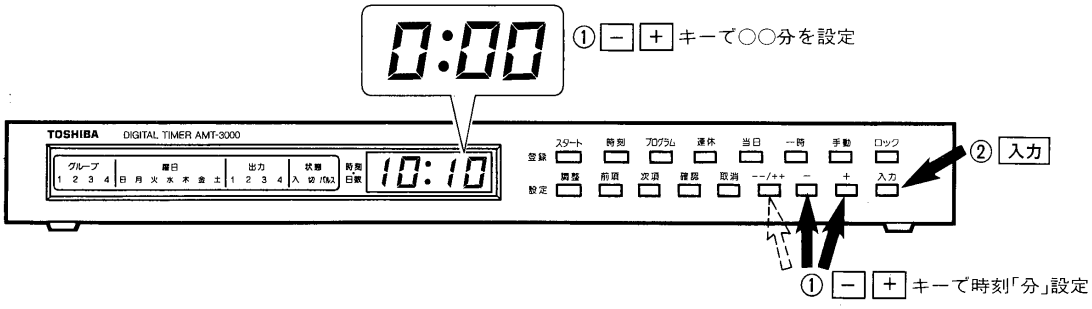
4 状態の選択



5 時刻「時」の設定

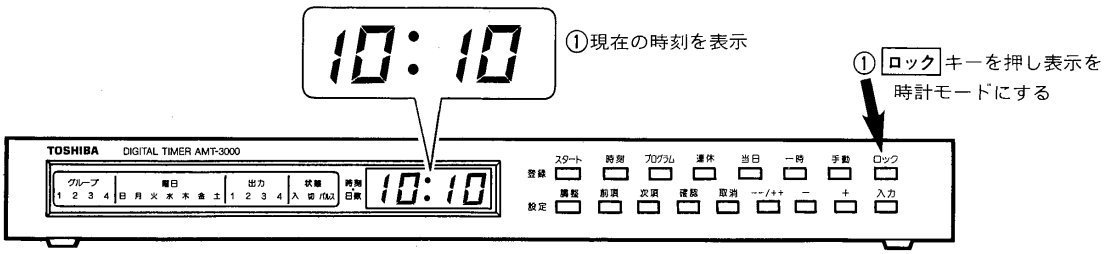


6 時刻「分」の設定



● グループ4の全プログラムを 2 ～ 6 をくりかえし登録してください。登録終了後は 7 の操作で表示を時計モードにしてください。

7 通常の時計モードにもどす



お客様はお読みになったあとも必ず保存してください

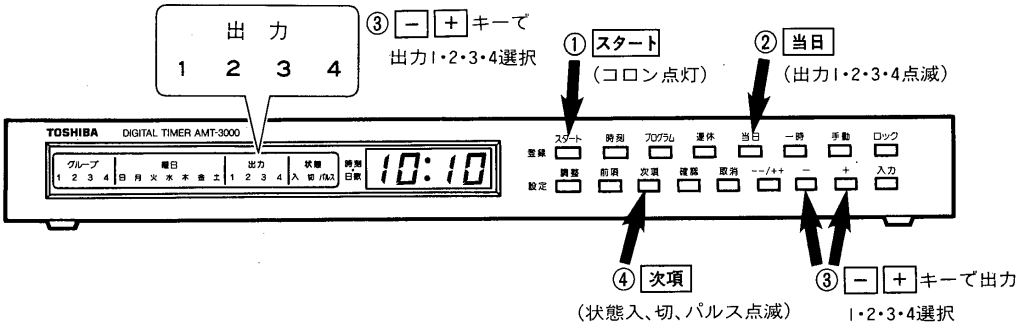
TOSHIBA

当日プログラムの登録のしかた

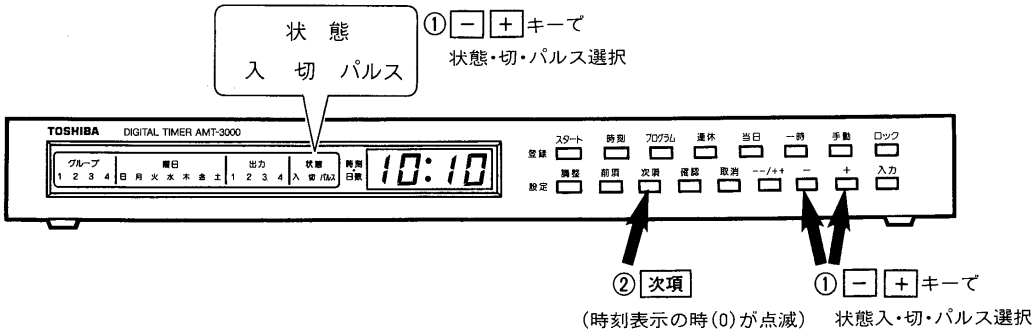
- ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。
- 登録されているプログラムに当日のみ臨時にプログラムを追加する場合は、当日プログラムの登録をおこなってください。(例、当日のみ午前11時にチャイムを鳴らす。)
- グループ4と当日プログラムのステップ数の合計が100を超えるとそれ以上登録できません。

ご注意 時刻を設定する場合、現在時刻より前の時刻に設定されても登録はされますが、動作はしません。登録したプログラムは翌日になりますと自動的に消去されます。

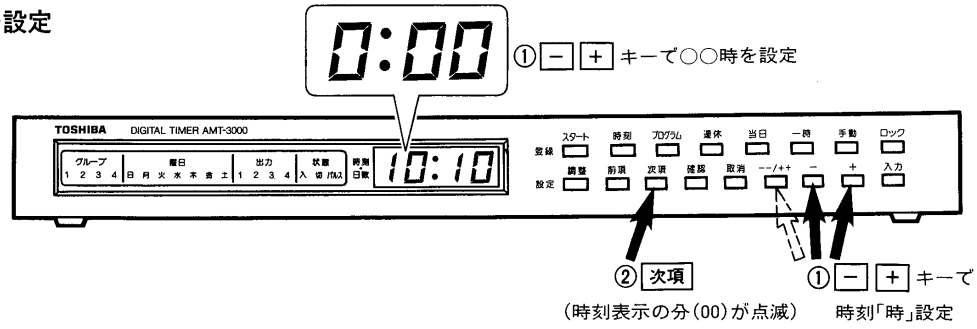
1 出力の選択



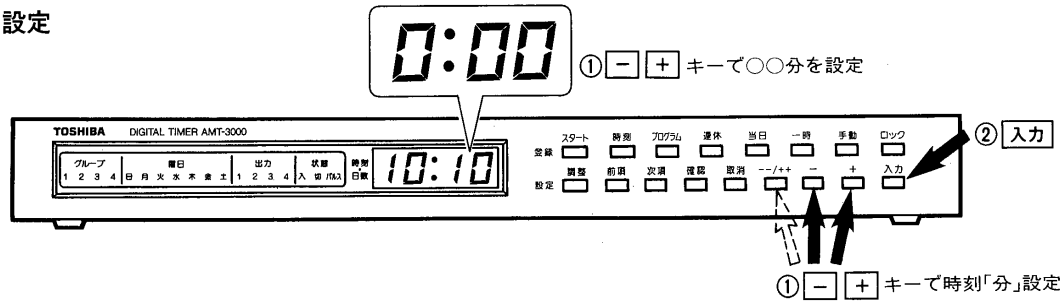
2 状態の選択



3 時刻「時」の設定

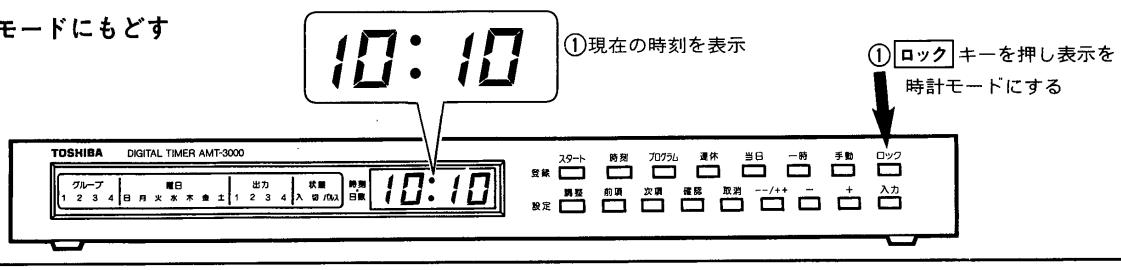


4 時刻「分」の設定



- 当日プログラムを2〜4をくりかえし登録してください。登録終了後は5の操作で表示を時計モードにしてください。

5 通常の時計モードにもどす



登録したプログラムの確認のしかた

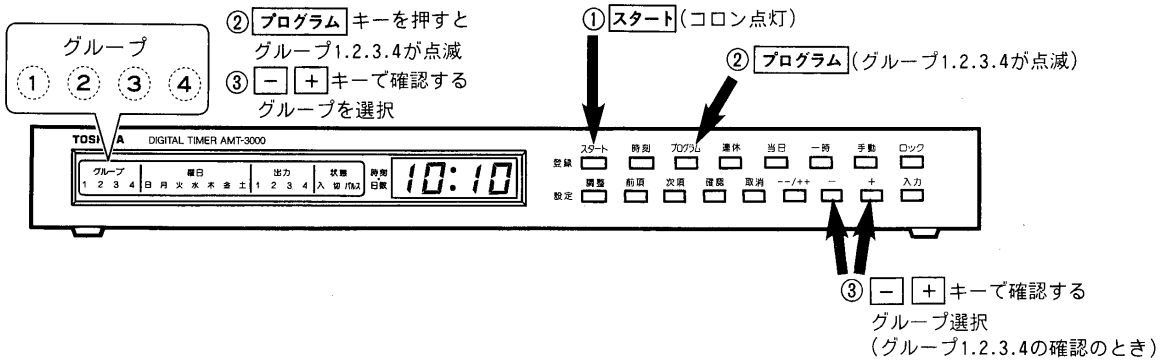
●プログラムの登録終了後、間違いなく設定、登録されているか必ず確認してください。

（グループ１～４）

プログラム確認の操作方法

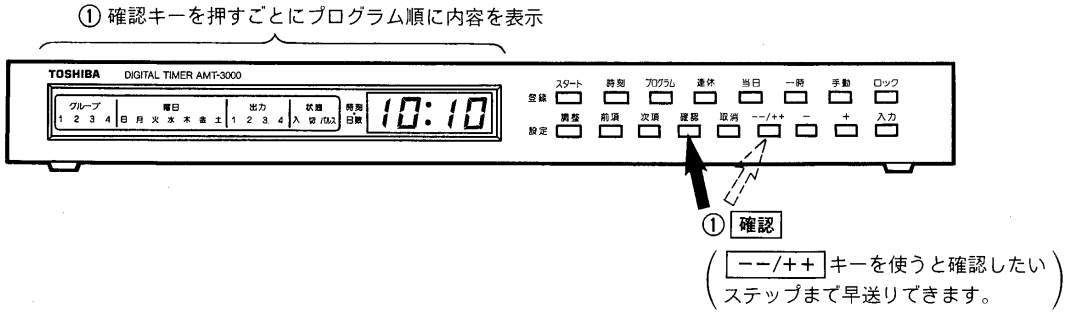
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

1 プログラムを確認するグループの選択

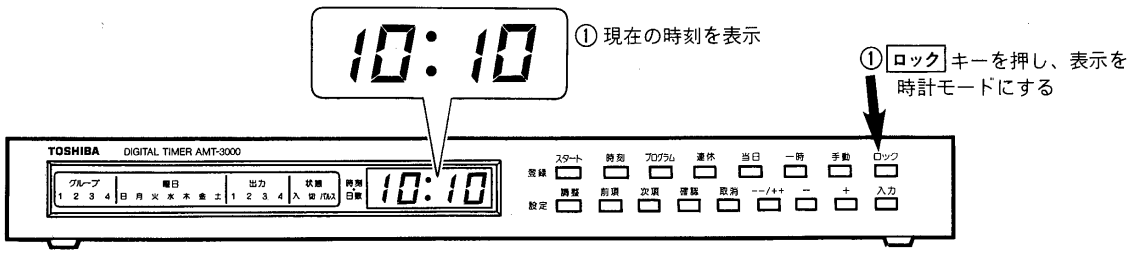


2 プログラムの確認

●確認キーを押すことに、プログラム順に表示が変わっていきます。プログラムの最後まで確認キーを押し表示を確認してください。



3 通常の時計モードにもどす



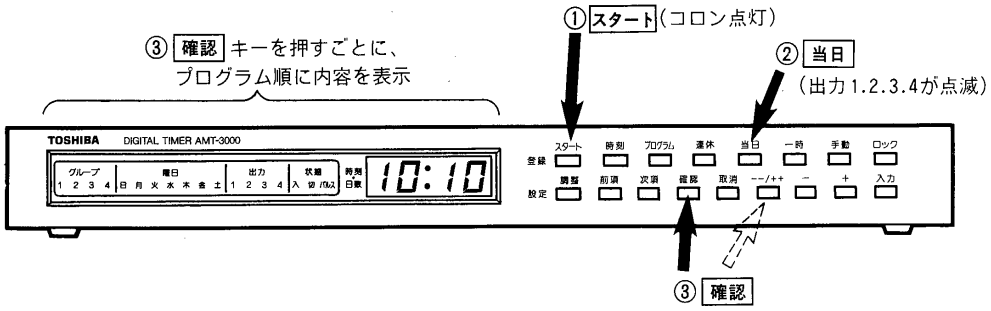
●1→2→3の要領で各グループのプログラムを確認してください。

登録した当日プログラムの確認

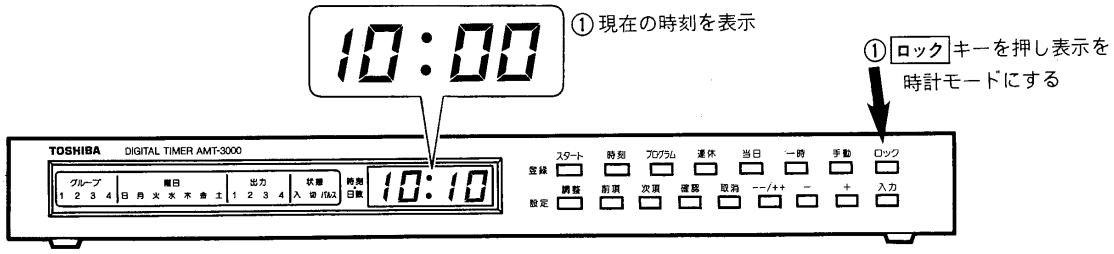
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

●当日プログラムの登録終了後、間違いなく設定、登録されているか、必ず確認してください。

1 当日プログラムの確認



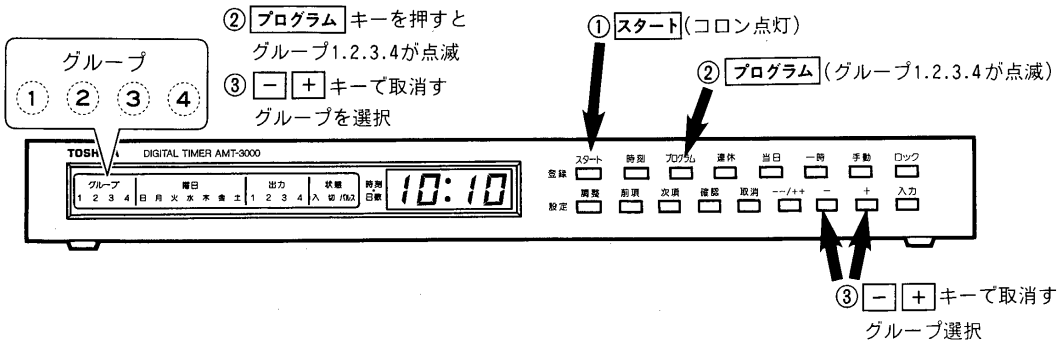
2 通常の時計モードにもどす



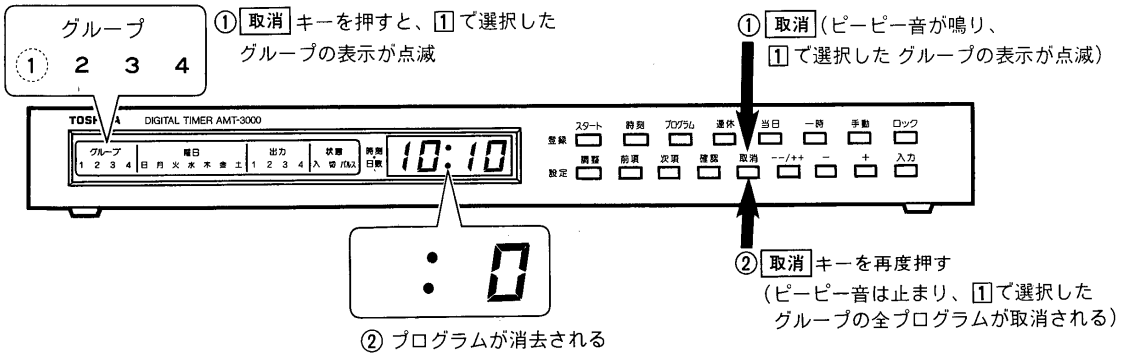
登録したプログラムの取消しのしかた①

グループの全プログラムを取消す場合

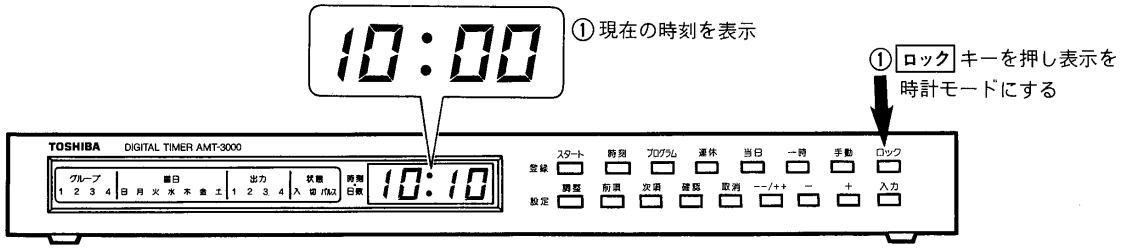
1 プログラムを取消すグループの選択



2 プログラムの取消し



3 通常の時計モードにもどす



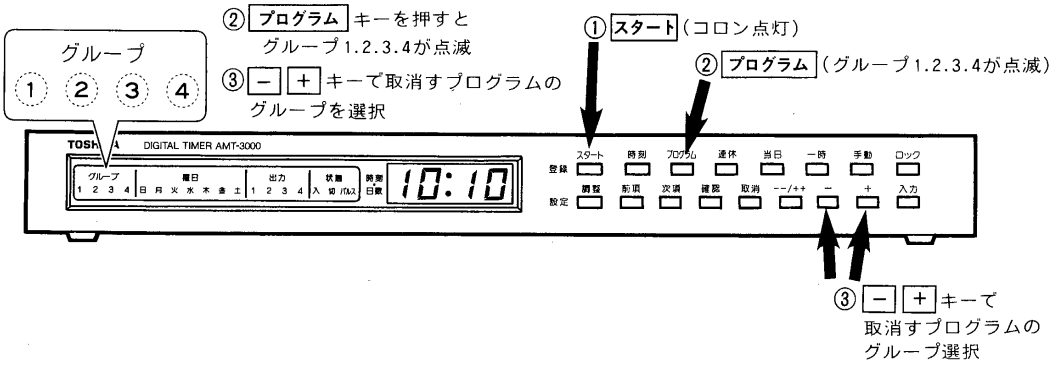
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください

登録したプログラムの取消しのしかた②

グループのプログラムを一部分取消す場合

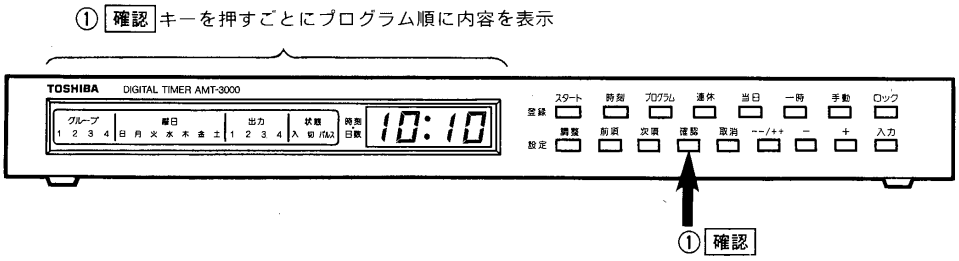
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

1 取消すプログラムのグループを選択

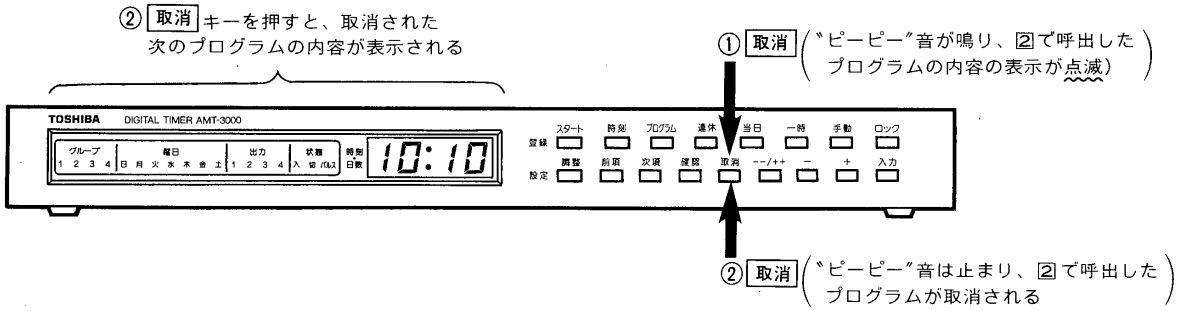


2 取消すプログラムを呼出す

● 確認 キーを押すごとに、プログラム順に表示が変わっていきます。取り消すプログラム表示に変わるまで 確認 キーを押してください。

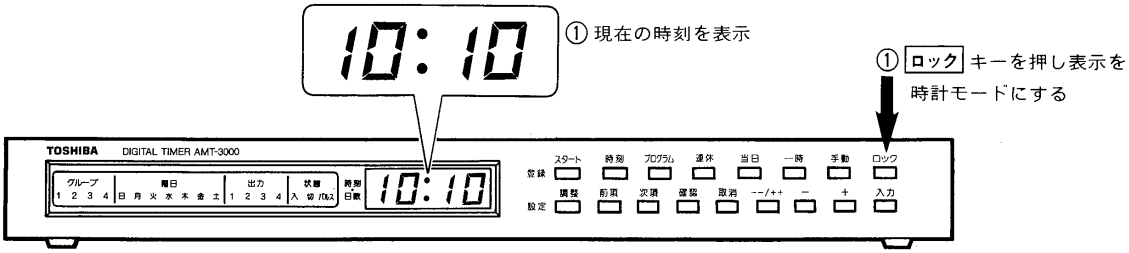


3 呼出したプログラムを取消す



● 次のプログラムを取り消す場合は3の①②の操作をおこなってください。それ以後のプログラムを取り消す場合は2の操作で次に消すプログラムを呼出し、3の①②の操作でそのプログラムを取り消してください。プログラムの取り消しが全部終わるまで以上の操作をくりかえしてください。

4 通常の時計モードにもどす

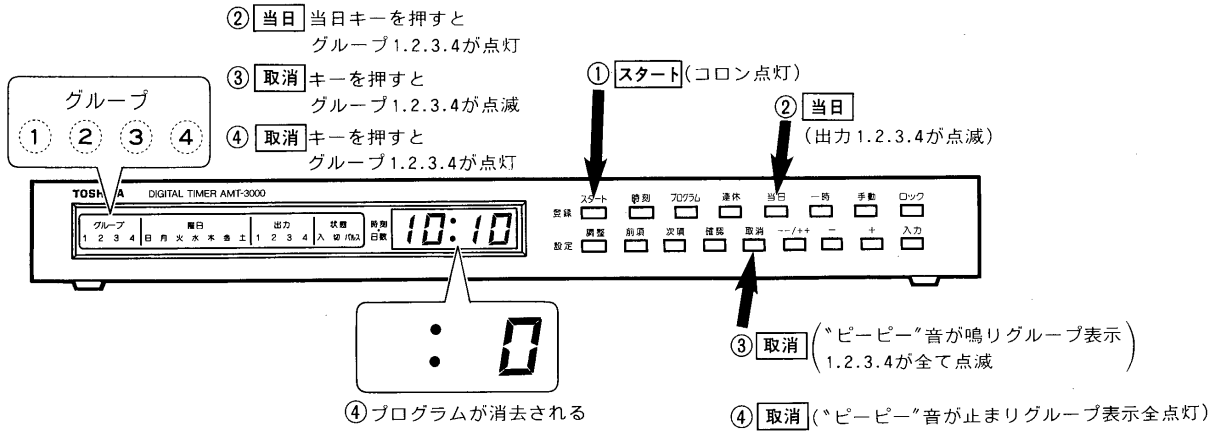


当日プログラムの取消しのしかた

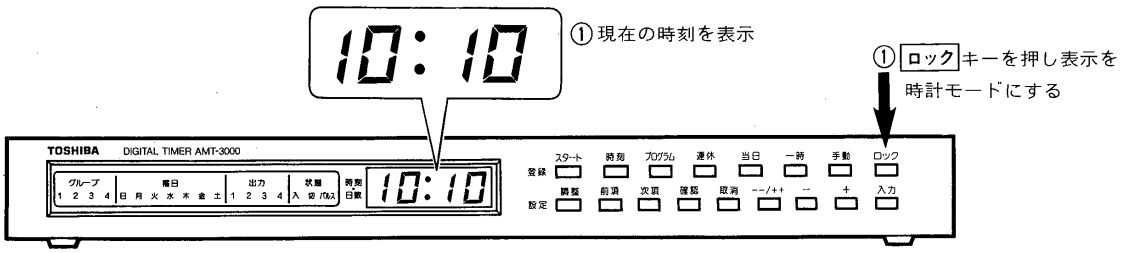
当日プログラム全体の取消し

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

1 当日プログラムを呼び出し消す



2 通常の時計モードにもどす



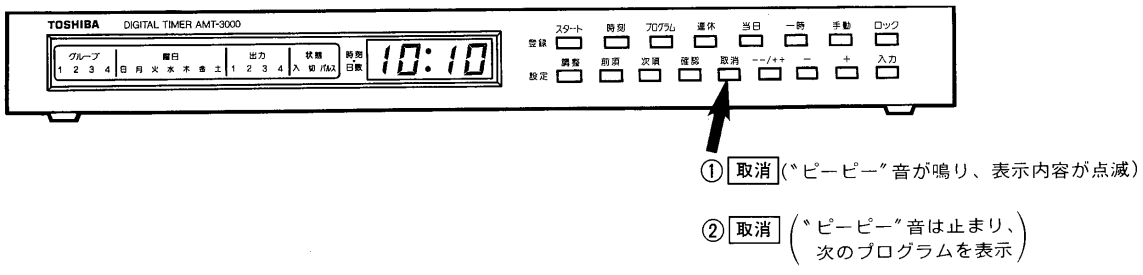
当日プログラムの部分取消し

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

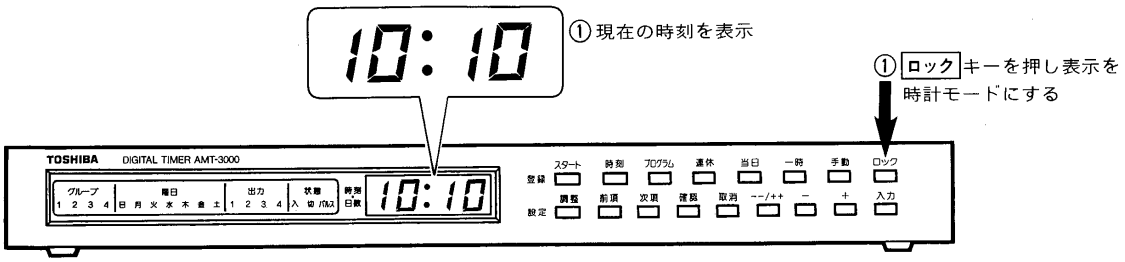
1 取消しをおこなう当日プログラムの表示にする

●15ページ「登録した当日プログラムの確認」の操作1①→1②→1③の順序で取り消しをおこなう当日プログラムの表示にしてください。

2 当日プログラムを取消す



3 通常の時計モードにもどす



お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

プログラムの修正のしかた

グループ1～4、当日プログラムの修正

プログラムを誤って入力してしまった等で修正する場合は次の手順で直してください。

1 プログラムの確認で誤ったプログラムを表示させる。(14～15ページ) ➡ 2 部分取消して誤ったプログラムを取消す。(17～18ページ) ➡ 3 プログラムを登録し直します。(9～13ページ) ➡ 4 プログラムの確認で修正されたかを確かめます。

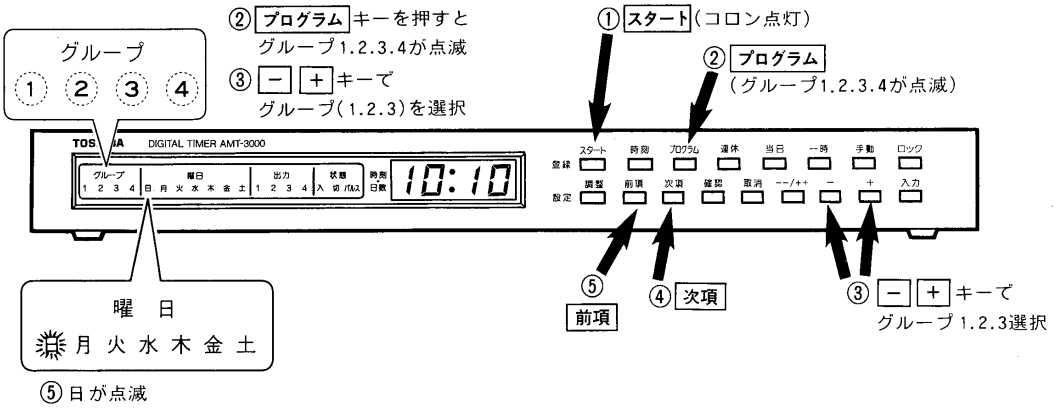
ご注意

確認モードで修正して登録してしまうと、修正前のステップも残りますので部分取り消しで修正前の行を取り消してください。

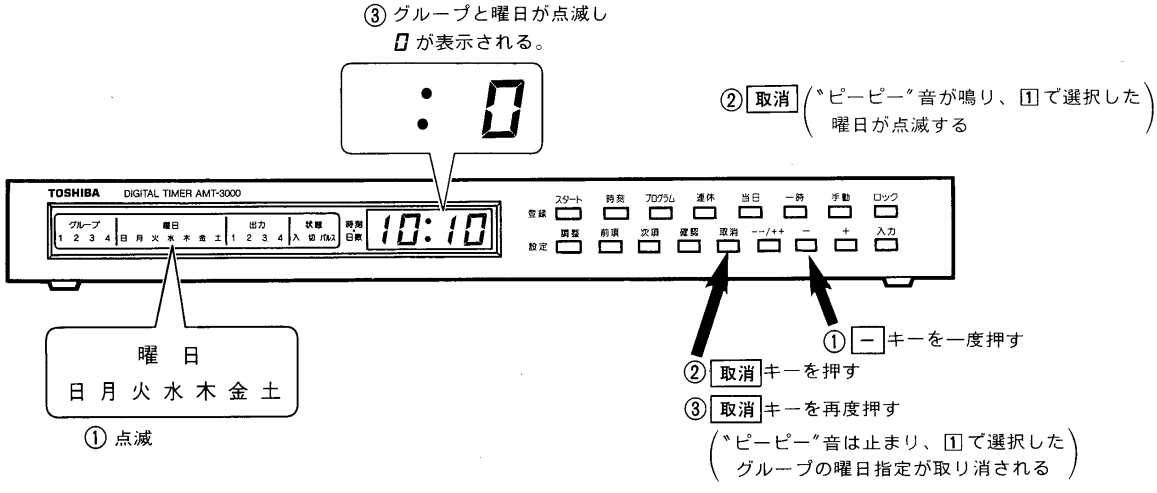
グループ1～3の曜日の修正

運用する曜日の指定を誤って入力してしまった場合は次の手順で直してください。

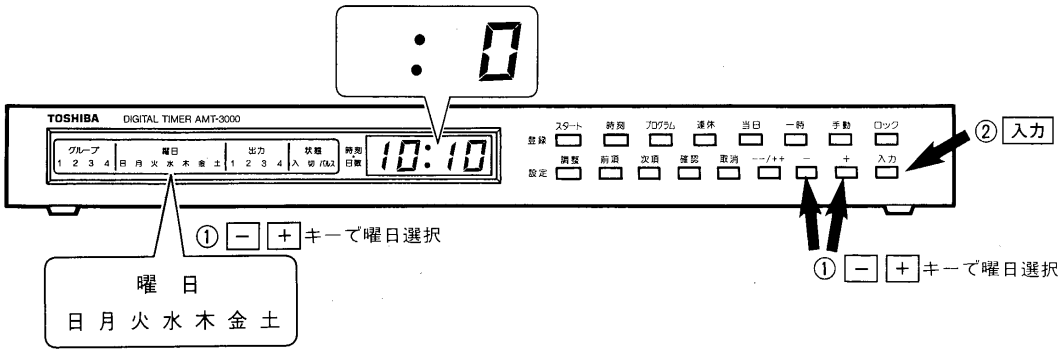
1 グループを選択して曜日を出す



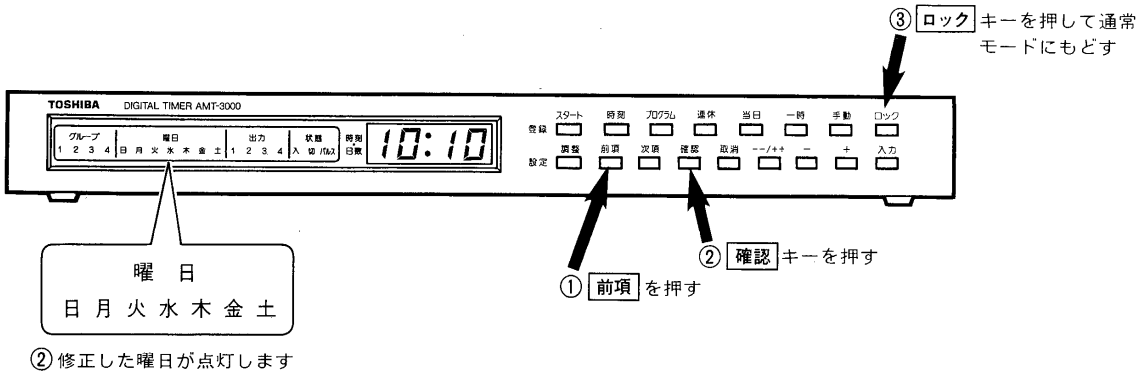
2 曜日登録を取消す



3 曜日の登録をし直す



4 修正した曜日を確認する



②で誤まっていたら 次項 キー、 前項 キーを押して 2 からやり直してください。

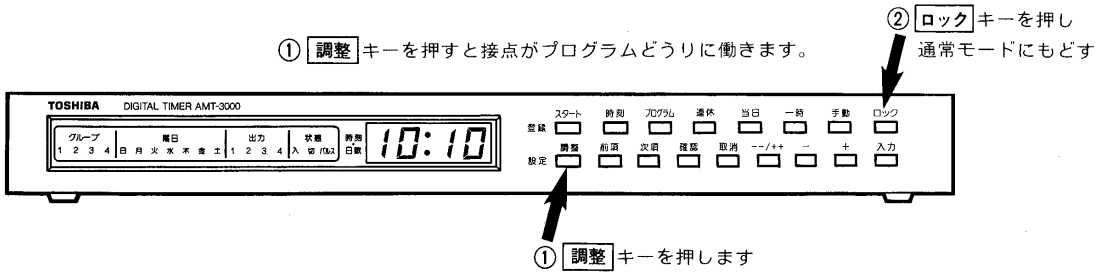
プログラムのテスト

本機では、実際に動作する時間まで待たずにプログラムをテストすることができます。

1 テストするプログラムを呼出す。

14～15ページのプログラムの確認のしかたで、テストしたいプログラムを表示させます。

2 テストします。



- 確認 キーを押して 調整 キーを押すことをくり返せばプログラムを順にテストできます。
- テストで状態 入 をしたら必ず 切 を実行してください。（25ページ手動制御のしかたを参照してください。）（接点が保持されたままになります。）

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2006年02月08日>
AMT-3000 (20 / 34)

一時変更の指定のしかた

一時変更で次のことができます。

（例）平日プログラムがグループ１、休日プログラムがグループ２に登録されている場合に

１）次の日曜日は平日プログラム(グループ１)で動作させる。

２）次の月曜日は祝日なので休日プログラム(グループ２)で……。

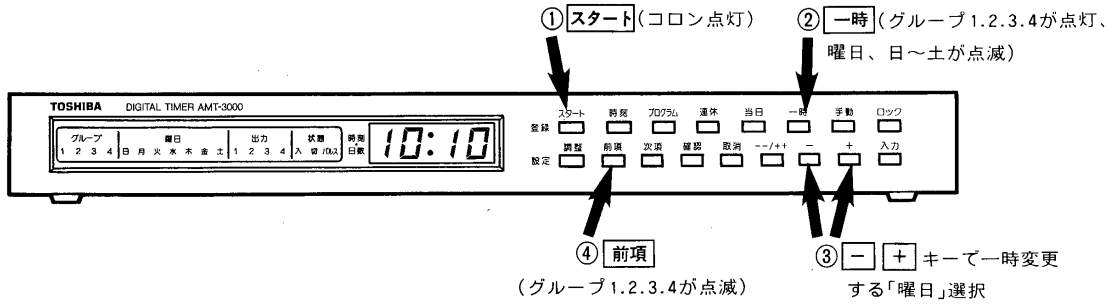
３）次の土曜日はプログラムを休止させる。

●一時変更の指定は、翌日より１週間以内で、曜日ごとにおこなえます。(最大７日)

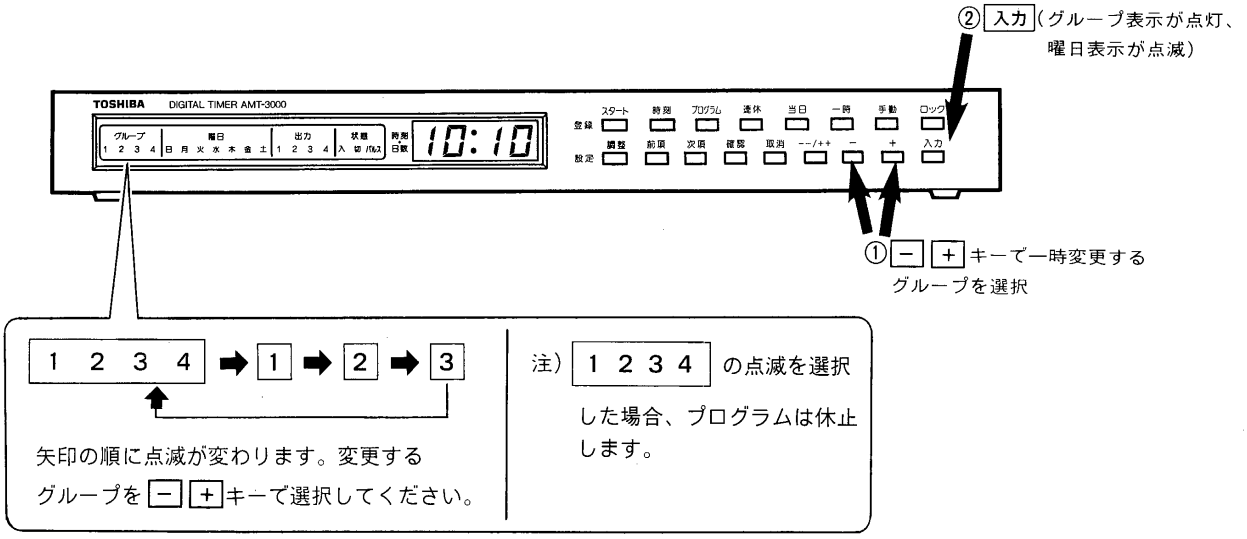
●○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

注）一時変更の指定と連休の登録が同時におこなわれている場合は、連休の登録が優先します。

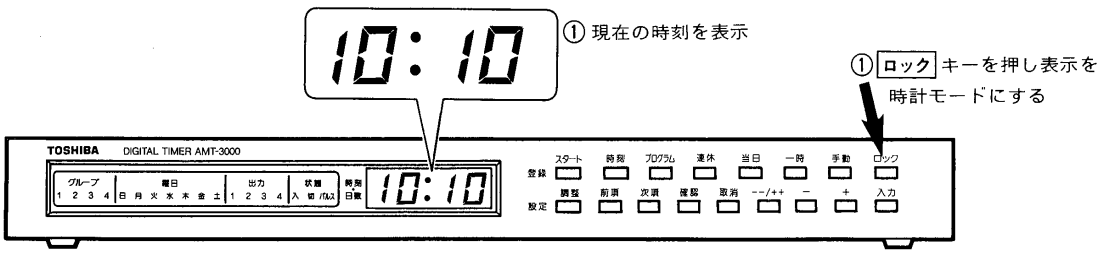
1 一時変更する曜日の選択



2 一時変更で指定するグループの選択

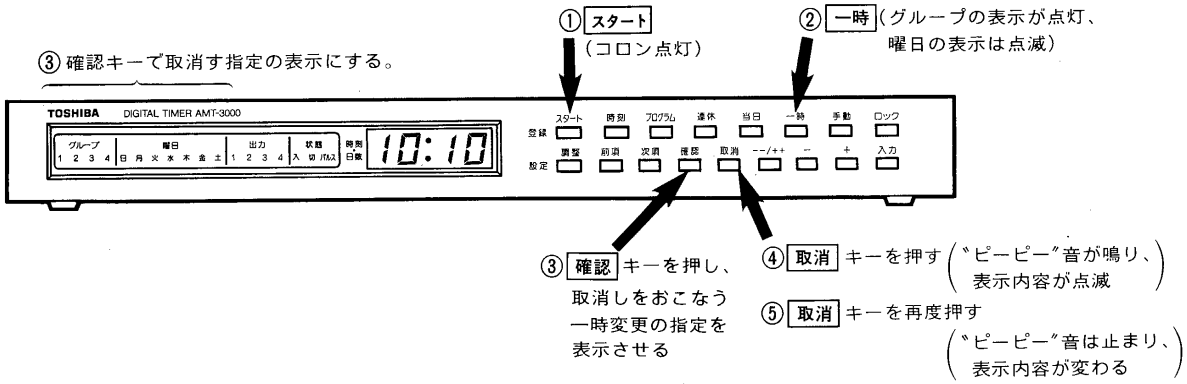


3 通常の時計モードにもどす



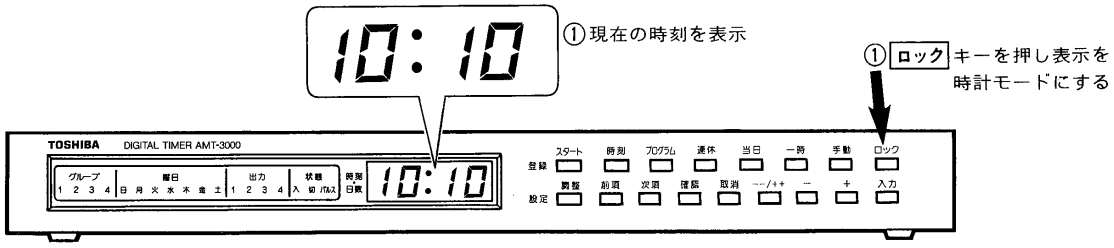
一時変更の指定を取消す場合

1 一時変更の指定の取消し

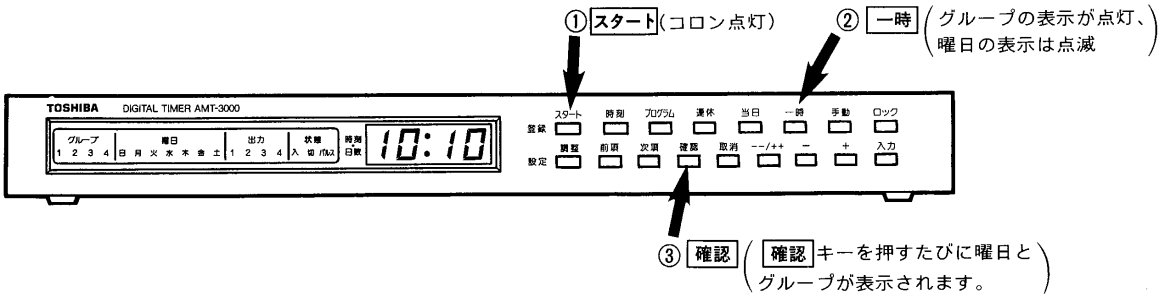


注）一時変更の指定が１項目だけの場合は③の操作は不要です。省略してください。

2 通常の時計モードにもどす



一時変更の指定の確認



ご注意

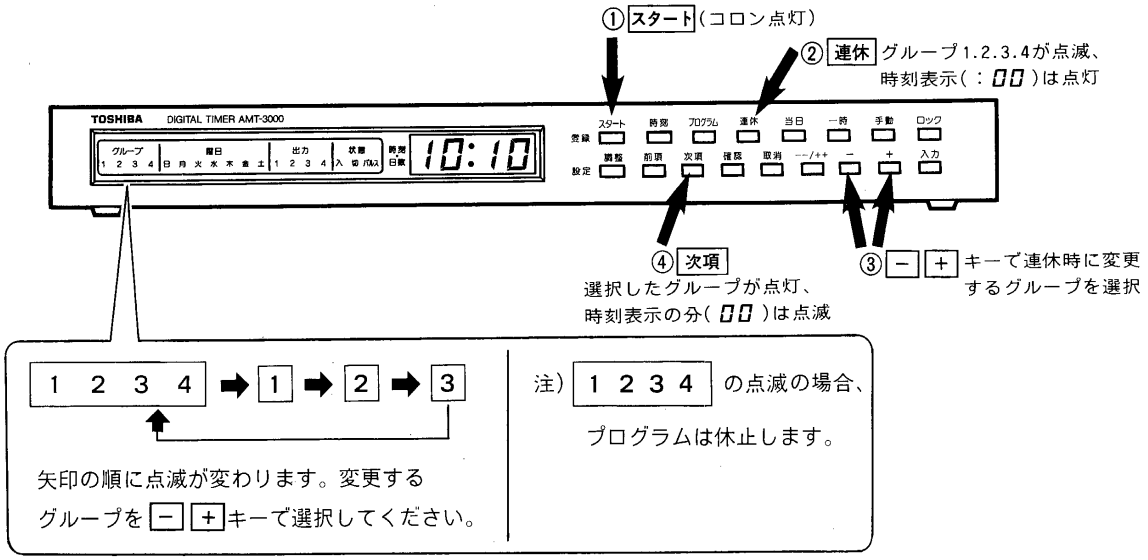
- 一時変更で一日の曜日で変更できるグループは１つだけです。
  複数のグループ指定はできません。
- 誤まって指定した場合は指定をやりなおしてください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

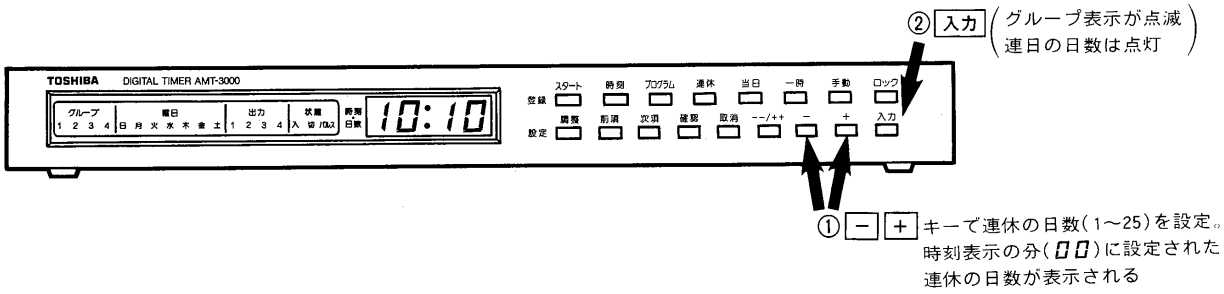
連休(または1日だけの休日)の登録のしかた

- 連休などで、その期間プログラムを休日用グループのプログラムに変更して運用したり、または休止させたい場合は連休の登録をおこなってください。
- 連休の登録は必ず、連休の前日におこなってください。
- 登録できる期間は1日から25日までです。
- ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

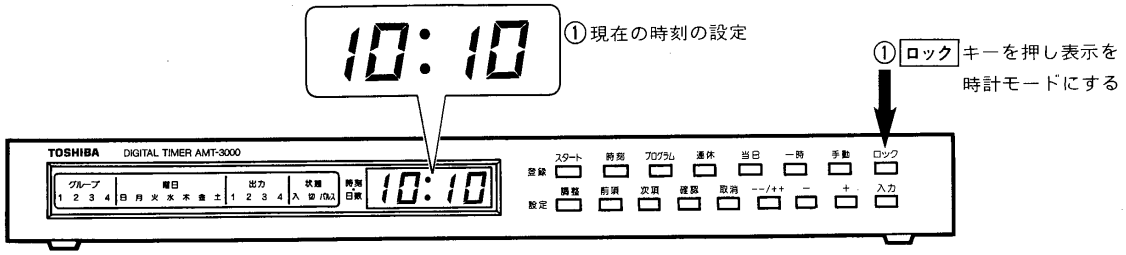
1 変更するグループの選択



2 連休の日数の設定



3 通常の時計モードにもどす

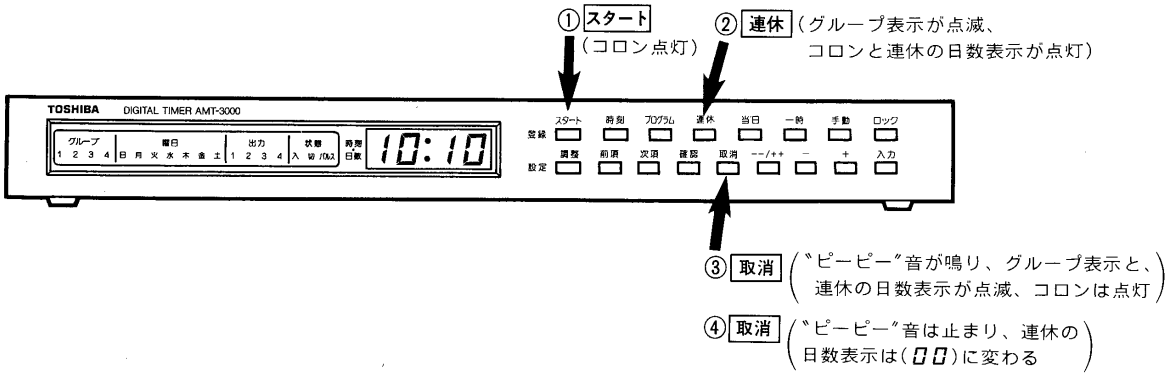


- 連休の登録終了後、間違いなく登録されているか、必ず下記の方法で確認してください。
  連休の登録を確認する場合は、「連休の登録」操作1①→1②の順にキーを押してください。連休時に変更するグループと連休の日数が表示されますので確認してください。確認が終われば、ロックキーを押し通常の時計モードにもどしてください。もし確認した結果、誤って登録されたい場合は、もう一度連休の登録をやり直してください。

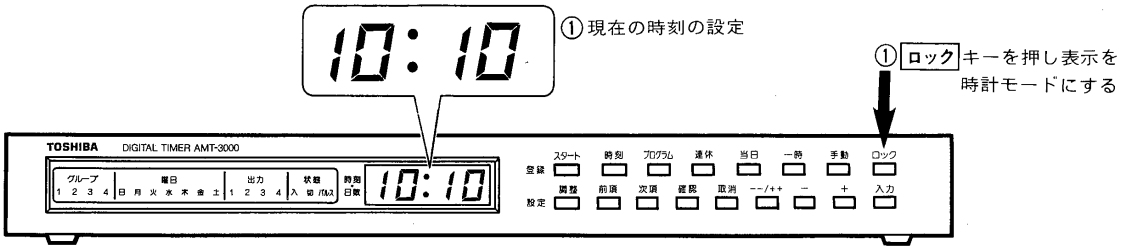
連休の登録を取消す場合

●予定していた連休が変更になった場合は、連休の登録を取り消してください。

1 連休の登録の取消し



2 通常の時計モードにもどす

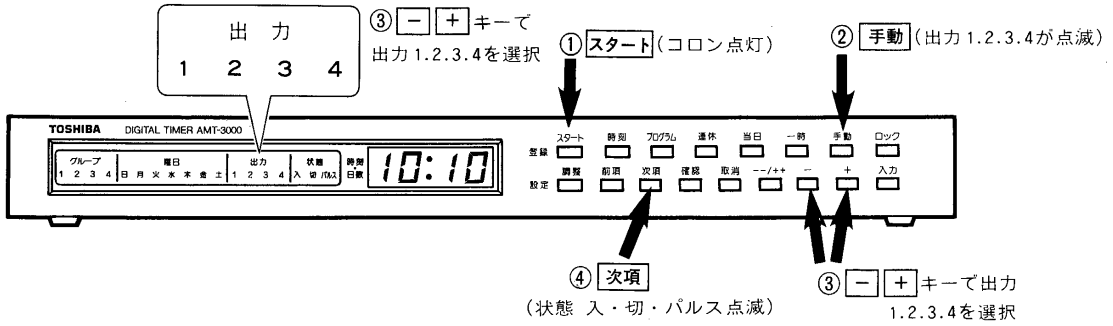


お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

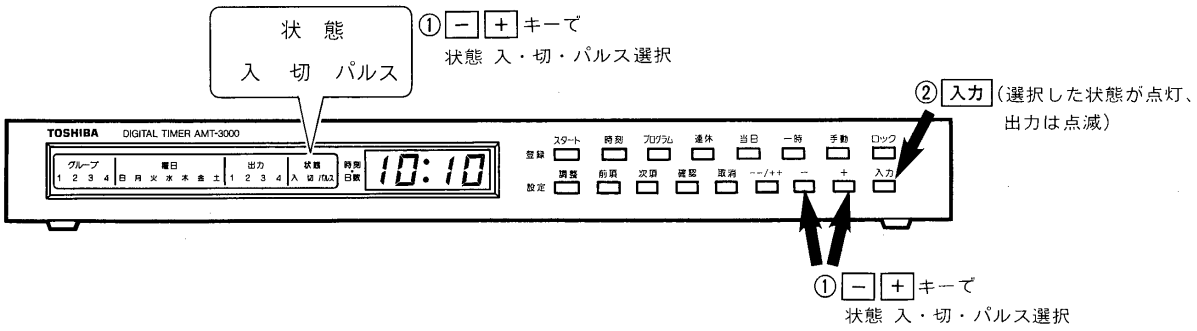
手動制御のしかた

- ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。
- タイマ機能を使用せず、プログラム登録もおこなわないで、今すぐプログラムを動作させる場合は、手動制御でプログラムを動作させてください。(例、今すぐチャイムを鳴らす)

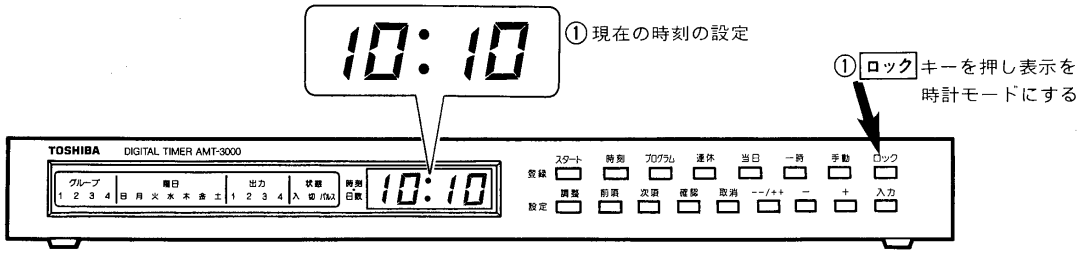
1 出力の選択



2 状態の選択



3 通常の時計モードにもどす



ご注意

- 手動制御をされるときには、接続されている機器、システムをよく理解された上で必要な操作を行ってください。
- 状態の選択で保持接点の 入 を動作させた場合、必ず 切 を実行して保持接点を切ってください。

時刻の修正について

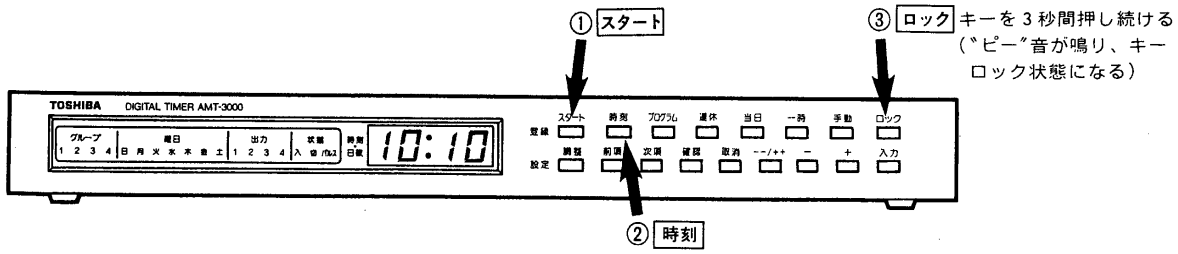
本機の時計機能は月差±５秒（室温25℃）ですが、停電があった場合はそれ以上のずれが生じることがありますので、復電後、あるいは定期的に時刻を修正されることをお推めします。
尚修正の方法は８ページ「曜日／時刻（時・分）の設定」をご覧になってください。(登録と同じ方法です。)

キーロックについて

●プログラムの登録時、入力が終了後にロックキーを約３秒間続けて押しますと、警告音（ピー）が鳴りキーロックされます。キーロック状態では、どのキーを押しても受けません。プログラムの登録が全部終了しましたら、キーロック状態にしておきますと、誤まってキーに触れたときでも安心です。

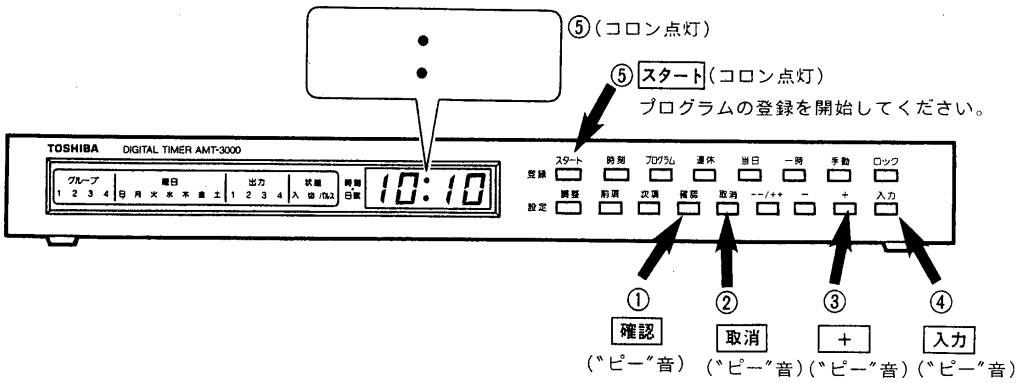
キーロックのしかた

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。



キーロックの解除のしかた

●プログラムの登録などをする場合、次のキー操作でキーロックの解除をおこなってください。



●⑤スタートはプログラム登録の際の1①のスタートになりますので、続けてプログラムの登録の操作をおこなってください。

注）このキーロックについての項の〝プログラムの登録〟とは当日プログラム・連休・一時変更の指定・手動制御も含むすべての登録操作を意味します。

その他のご注意

●操作途中でキーを押してから約２分間、次のキーを押しませんと表示中のデータは無効になり、現在の時刻表示に変わります。以前に入力キーを押して入力したプログラムは有効ですので、無効になったところから操作を続けてください。ただしキーロックの解除は無効になりません。

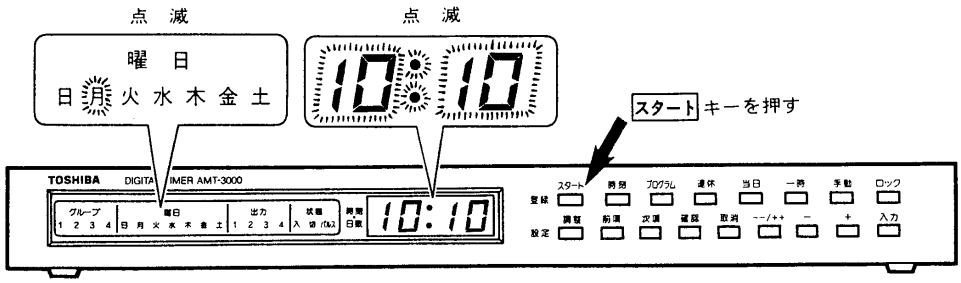
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2006年02月08日>
AMT-3000 (26 / 34)

表示メッセージについて

●設定登録のミスや停電復帰などの場合には、各種のエラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示された場合は、下記の要領で処置してください。

1. 表　示……曜日・時・分・コロンが点滅。

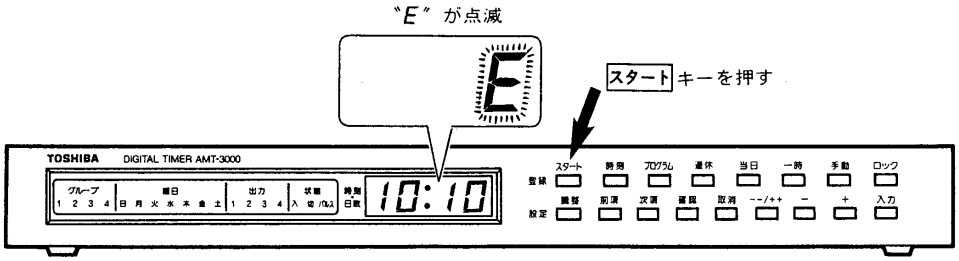


原　因……停電が復帰した場合です。

処　置……スタート キーを押してください。

---

2. 表　示……時刻の分表示箇所に〝E〟が点滅



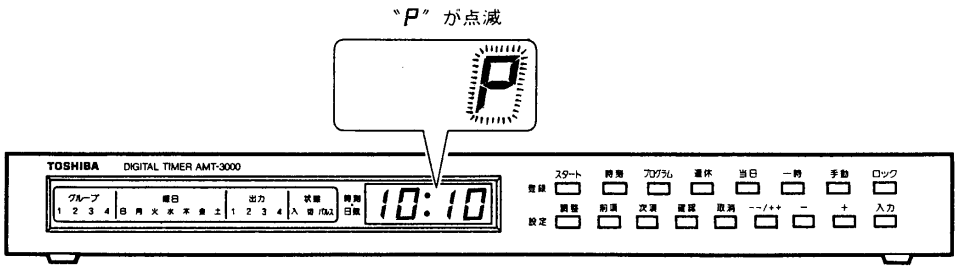
原　因……システムエラーです。

処　置……スタート キーを押してください。

●システムリセット済みですから、曜日・時刻の設定及びプログラムの登録をもう一度最初からおこなってください。

---

3. 表　示……時刻の分表示箇所に〝P〟が点滅。



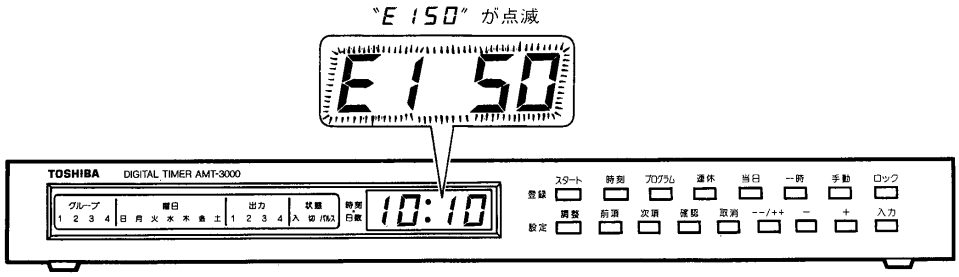
原　因……プログラム内容の入力エラーです。

処　置……各プログラムの内容を確認しエラー箇所を訂正してください。

●エラー箇所のあるプログラムは取り消し、正しいプログラムを登録してください。

---

4. 表　示……時刻の表示箇所に〝E 150〟が点滅。



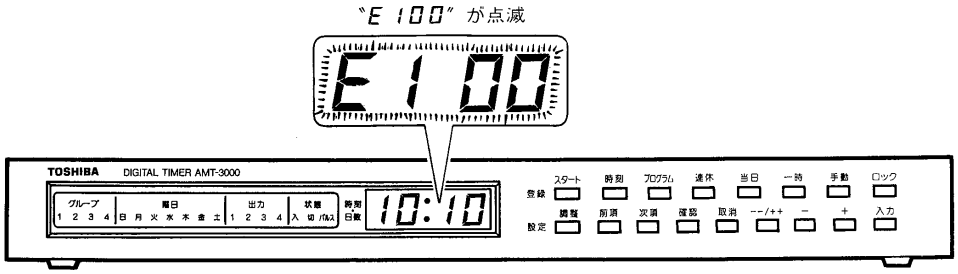
原　因……グループ１・２・３の登録でステップの容量が150を越えている。

処　置……ステップ容量を150以下にする。

- もう一度、プログラムを確認し、省略できるものを取り消してください。
- グループ４（当日 プログラムも含む）の容量に余裕がある場合は、少々面倒ですがグループ４にプログラムの登録をやり直してください。

---

5. 表　示……時刻の表示箇所に〝E 100〟が点滅



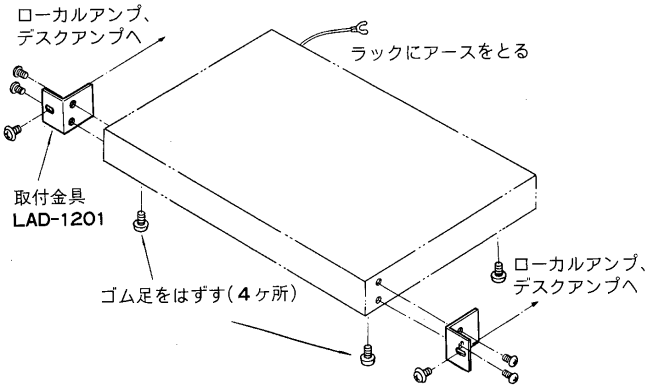
原　因……グループ４および当日プログラムの登録でステップの容量が100を越えている。

処　置……ステップ容量を100以下にする。

- もう一度プログラムを確認し、省略できるものを取り消してください。

EIA規格ラックへの取り付けかた

- 本機を EIA サイズのラックに取り付ける場合には別売の取付金具（LAD-1201）を用いて右図のように取付けてください。
- 付属のアース線でラックにアースしてください。



TOSHIBA

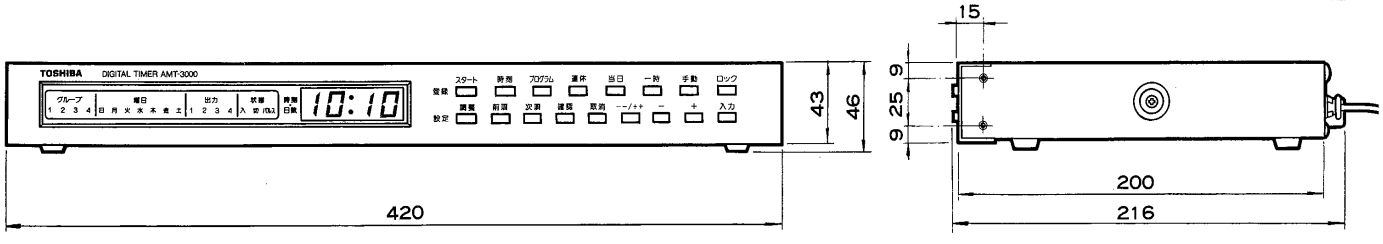
修理サービス

ご使用中に異常が生じた場合にはお使いになるのをやめ、ACコンセントからコードを抜いて、お買いあげの販売店、またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名（AMT-3000）および、お買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕様・外観寸法図

使用電源	AC100V　50／60Hz
消費電力	約6W
内蔵バッテリー	円筒密閉型ニッケルカドミウム電池
停電補償	200時間以上（周囲温度25℃で使用時）
時計精度	月差±5秒（周囲温度25℃　AC100Vで使用時）
プログラム数	グループ1～3（ステップ容量　計150） グループ4・当日プログラム（ステップ容量　計100）
プログラム内容	曜日、出力番号、出力状態、時、分
設定単位	分
出力数	4系統
接点容量	出力番号1・2　DC24V　2A（無電圧メーク接点） 出力番号3・4　DC24V　0.5A（無電圧メーク接点）
出力状態	保持（入または切）　パルス（約5秒）
プログラム入力	キー　入力
表示	動作中：曜日、時、分、出力 設定中：プログラムの内容
特殊機能	連休の設定 曜日の設定 プログラム入力時に確認音または警告音 停電復帰時　表示点滅
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	幅420mm　奥行210mm　高さ43mm（突起物を除く）
外観色調	パネル…オフブラックメタリック、ケース…ダークグレイ
重量	約2.6kg
付属品	取扱説明書……1　スケジュール表……1 東芝お客様ご相談センター一覧表……1　プログラム作成表（グループ1～3、当日用）…3 ヒューズ（0.3A）……1　プログラム作成表（グループ4用）……1 アース線……1

単位mm



東芝ライテック株式会社　照明電材事業部　〒140　東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL（03）5463－8779

スケジュール表

作成

番　号	項　　目	時　刻	曜　　日							備　　考
		時：分	日	月	火	水	木	金	土	

プログラム作成表（グループ1・2・3及び当日※用）

※当日プログラムの場合は、グループと曜日の設定はありません。

グループ	プログラムを動作させる曜日
1・2・3	日・月・火・水・木・金・土

No.

番号	時：分	出力	状態	備考
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	

プログラム作成表(グループ1・2・3及び当日※用)

※当日プログラムの場合は、グループと曜日の設定はありません。

グループ	プログラムを動作させる曜日
1・2・3	日・月・火・水・木・金・土

No.

番号	時 : 分	出力	状態	備考
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	

プログラム作成表(グループ1・2・3及び当日※用)

※当日プログラムの場合は、グループと曜日の設定はありません。

グループ	プログラムを動作させる曜日
1・2・3	日・月・火・水・木・金・土

No.

番号	時 : 分	出力	状態	備考
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	
	:	1 2 3 4	入 切 パルス	

プログラム作成表(グループ4用)

No.

番号	曜 日	時：分	出　　力	状　　態	備　　考
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	
		:	1 2 3 4	入 切 パルス	